

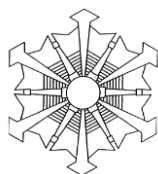
令和6年版

消防年報



宜野湾市消防本部

令和7年刊行



ま え が き

この年報は、令和6年中における本市の消防事情を収録（一部においては過去10年ないし5年間の推移を収録）したもので、消防行政の運営の指針とするとともに消防の状況を広く紹介するため編集したものです。

なお、収録の統計資料は、暦年単位でもって表していますが、その他の事項については年度及び4月1日をもって作成しております。

令和7年

宜野湾市消防本部

宜野湾市消防訓

一、使命・奉仕

市民の生命、身体及び財産を災害から保護するとともに、消防人としての職責を自覚し、全体の奉仕者として、意欲をもつて誠実、公正に遂行することを使命とする。

一、規律・連帯

厳正な規律及び、緊密な連携の保持に努めることにより、組織として一体の成果を成し遂げるよう尽力する。

一、鍛錬・研鑽

自己の健康管理を図り、常に心身の鍛錬に努めることで卓越した知識と技術を身につけ、その能力を最大限に発揮できるように自己研鑽する。

この消防訓は消防の責任を十分に果たすために、災害を防ぎ、安寧秩序を保持し、社会公共の福祉の増進に資するため、消防人としての奉仕の精神、慈悲の精神をもつて、強い使命と強固な連帯感を発揮するため、自己研鑽に励むことを目的とする。

目 次

市勢・消防の沿革

○ 位 置	1
○ 地 勢	1
○ 人口及び世帯数	2
○ 面 積	2
○ 宜野湾市の略図及び消防庁舎写真	3
○ 消防の沿革	4～11
○ 歴代消防長	12
○ 歴代消防隊長・消防団長	12

組 織 ・ 人 事

○ 組織人事概要	13
○ 消防本部組織図	14
○ 消防本部・消防署の事務分掌	15～17
○ 職員配置状況	18
○ 消防職員定数及び実数	19
○ 年度別職員数	19
○ 職員の階級別・年齢別構成表	20
○ 職員の階級別・勤続年数別構成表	21
○ 職員の教育訓練状況	22
○ 職員の資格・技能取得状況	23
○ 消防職員表彰・元消防職団員叙勲受章者	24
○ 消防力の整備指針と現有消防力との比較	25
○ 面積・人口・世帯数に対する消防力	25
○ 消防相互応援協定等の状況	26

消 防 団 関 係

○ 消防団組織図	27
○ 消防団員定数及び実数	27
○ 消防団員の報酬及び費用弁償額	27
○ 消防団員活動状況	28
○ 消防団員の装備	28
○ 消防団員表彰	28

消 防 予 算

○ 令和6年度消防予算決算及び令和7年度消防予算	29
○ 市予算と消防予算の推移	30
○ 市民1人当り・1世帯当りの消防費の推移	30
○ 令和7年度予算概要	30

消防施設機械

○ 過去1年間の施設機械状況	31
○ 消防本部及び署所の名称・位置	31
○ 消防庁舎概要	31
○ 消防通信施設	32～33
○ 消防水利の現況	34
○ 現有消防車両	34
○ 消防用車両配置一覧表	35

予 防

○ 火災予防概要	36
○ 数量別危険物施設の現況	37
○ 危険物施設事務処理状況	37
○ 危険物関係事務手数料収入状況	38
○ 危険物施設数及び事業所数の推移	38
○ 少量危険物取扱施設数	38
○ 各種届出事務処理状況	39
○ 防火管理資格取得講習会実施状況	39
○ 用途別防火管理者選任(解任)届出状況	40
○ 防火管理者を必要とする防火対象物数	41
○ 防火対象物別立入検査状況	42
○ 建築同意事務処理状況	43
○ 過去5年間の建築同意受付件数	43
○ 月別・用途別建築同意処理状況	44
○ 用途別消防用設備等設置件数	45
○ 中高層建築物用途別棟数状況	46
○ 予防広報活動状況	47
○ 全国統一防火標語	48

火 災

○ 火災統計概要	49
○ 過去5年間の火災種別発生件数・状況	50
○ 過去5年間の火災件数、損害額及び焼損面積	51
○ 月別・年次別火災発生状況	52
○ 令和6年の出火原因別火災発生件数	53
○ 近年における主な住宅用火災警報器による奏功事例	53
○ 月別・用途別出火件数	54
○ 覚知別火災出動件数	54

○ 曜日別火災発生件数	54
○ 月別・時間別火災発生状況	55
○ 行政区別・月別火災発生状況	56

救 急

○ 救急統計概要	57
○ 事故種別・時間別救急出動件数	58
○ 時間別救急出動件数	58
○ 事故種別・時間別救急搬送人員	59
○ 時間別救急搬送人員	59
○ 事故種別年令区別傷病程度別搬送人員	60
○ 月別救急出動件数	61
○ 曜日別救急出動件数	61
○ 行政区別救急出動件数	62
○ 過去10年間の救急出動件数	63
○ 過去10年間の事故種別救急出動件数	63
○ 署所別救急出動件数	63
○ 救急隊員が行った応急処置件数	64

救 助 ・ その他出動

○ 救助統計概要	65
○ 災害別・月別出動件数	66
○ 行政区別出動件数	67

その他

○ 消防関係主要行事・訓練関係	68
○ 救命講習・庁舎見学・職場体験学習	69
○ 気象観測データ	70



市勢・消防の沿革

位 置

本市は、沖縄本島中南部の東シナ海に面し、北には北谷町、北東には北中城村、東には中城村、南東には西原町、南に浦添市と面しています。

那覇市より北に12 Km、沖縄市より南に6 Kmの地点にあり、市内をドーナツ状に国道58号、国道330号、県道宜野湾北中城線、県道34号線が通り、さらに沖縄自動車道の北中城インターチェンジ、西原インターチェンジへもつながりが容易な沖縄本島の中部及び北部を結ぶ交通上の重要な地点に位置しています。

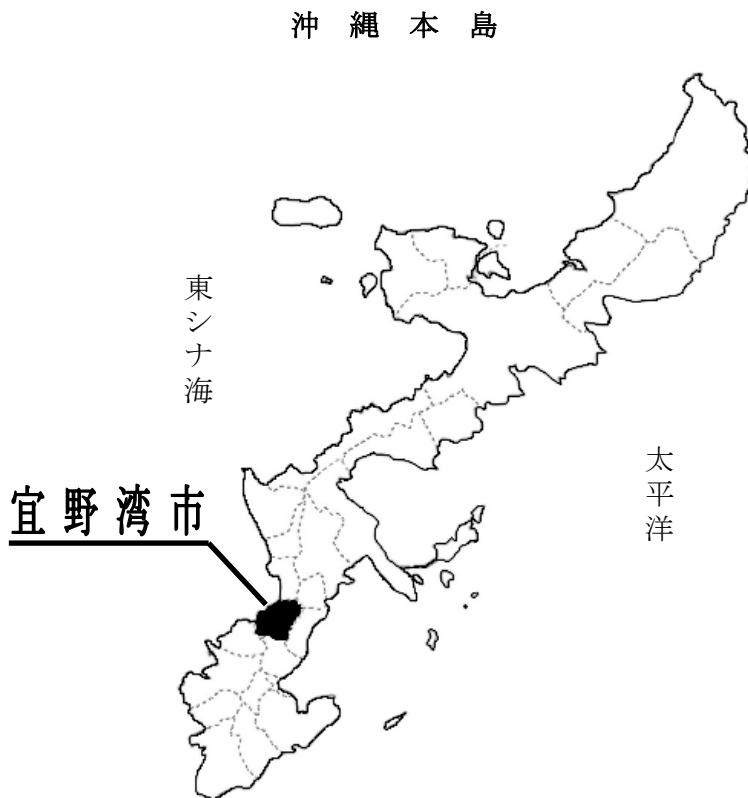
地 勢

海岸線は、比較的に出入りが少なく、珊瑚礁が発達して遠浅をなしています。

陸地は、東西が6.1 Km、南北が5.3 Kmのやや長方形で、海岸線は、おおむね平たんであるが、国道58号以东は台地となっています。市域の中央部と北部は米軍基地となっており、その面積は全市域の約32%を占めています。また、河川は浦添市境に宇地泊川、牧港川、北谷町界に普天間川があります。

気候は、亜熱帯性で、年平均気温は23.3度と四季を通じて温暖で、春から夏にかけて雨量が多く、梅雨明けとともに長い夏が続きます。夏から秋にかけて熱帯性低気圧の進路となり、台風の襲来が多くなります。

最東端	東 経
	127° 47' 21"
最西端	東 経
	127° 43' 46"
最南端	北 緯
	26° 14' 45"
最北端	北 緯
	26° 17' 38"



宜野湾市消防は、昭和26年4月29日に宜野湾村消防隊を結成し、昭和38年、当時の高等弁務官資金により普天間に庁舎を建築しました。当時、この建物は近代的な建物で、一部煉瓦造で望楼（火の見やぐら）が設置され、周辺を一望できる高層建物でした。宜野湾市には、その当時から普天間基地が存在し、普天間から遠距離の地域へは、基地を迂回せねばならず、現場到着までに15分以上要していました。その実情を踏まえ、昭和53年に我如古出張所を開所しました。また、市役所移転に伴い昭和61年3月には消防本部が普天間から野嵩に移転しました。

当時、宜野湾市は市全体が都市化され、人口増加が著しく建物も高層化され、火災・救急・その他災害も増加する中、市内全域5分以内に現場到着することを念頭に平成7年に真志喜出張所を開所しました。基地を囲むように3署所をバランスよく配置したことで、現場到着まで概ね5分以内に到着することが可能になり、消防力が一段と向上しました。

人 口 及 び 世 帯 数

令和7年3月31日現在

住 民 登 録 人 口		計	世帯数
男	女		
48,593	51,439	100,032	48,271

面 積

令和7年3月31日現在

面 積	東 西	南 北
19.80km ²	6.1km	5.3km

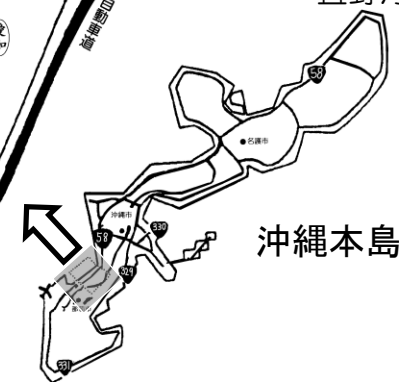
宜野湾市の略図



消防署真志喜出張所



宜野湾市消防本部・消防署



沖縄本島



消防署我如古出張所

消 防 の 沿 革

年 月 日	事 項
昭和24年 4月29日	初代消防隊長 宮城 光雄 就任
昭和25年 7月7日	三輪自動車ポンプ車配置
〃 10月25日	消防隊に関する法（米国軍政府令第28号）公布される
昭和26年 4月29日	宜野湾村消防隊を結成、宜野湾村消防隊隊規を設定する 隊長、副隊長、幹事各1名、評議員若干名、分隊長23名 隊員は各部落毎に、住民100名に対し2名の割合で配置する
昭和27年 10月	第2代消防隊長 宮城 豊吉 就任
〃 12月12日	消防法（琉球政府立法第66号）公布される
昭和30年 1月	第3代消防隊長 照屋 毅 就任
昭和31年 6月1日	第4代消防隊長 大城 仁幸 就任
〃 10月3日	水槽付消防ポンプ自動車（中古）が初めて配置される
昭和33年 7月1日	宜野湾村消防隊条例を制定、役所一般職員による兼務制度を採用する 兼務隊員17名 非常勤務隊員23名
〃 8月29日	役所庁舎新築に伴い普天間532番地へ移転する
昭和34年 7月1日	常勤制度を初めて採用する（運転手1名）
昭和35年 9月29日	ジープ配置（軍払い下げ品）
昭和36年 5月30日	大型ポンプ車自動車購入（軍払い下げ品）
昭和37年 6月15日	消防組織法（琉球政府立法第27号）立法、同年12月施行
〃 7月1日	村を廃し、市制を施行、宜野湾市となる
〃 7月5日	水槽付消防ポンプ自動車（国産第1号、トヨタ）配置
昭和38年 3月18日	消防新庁舎落成
〃 7月1日	消防団を配置する 消防組織法に基づき従来の消防隊を組織替え、消防団に改称する 常勤団員4名、役所兼務団員10名、非常勤団員82名
〃 7月1日	初代消防団長 大城 仁幸 就任
〃 11月25日	中部市町村消防相互応援協定締結
昭和39年 7月1日	初代消防長 大城 仁幸 就任
〃 7月1日	消防本部、消防署、消防団の三機関を設置、消防業務の選任化を図る 消防職員9名配置 団員（非常勤）13名
昭和40年 7月15日	軽化学車兼水槽付消防ポンプ自動車を配置する アメリカ民政府から譲渡
〃 7月	職員増を図る 消防職員12名 消防団員10名 24時間隔日 日勤務制を実施
昭和41年 3月2日	水槽付消防ポンプ自動車（新車、いすゞ）購入
昭和42年 7月	職員増を図る 消防職員18名 消防団員6名
昭和45年 10月1日	琉球政府行政組織法の一部改正により、建築同意事務と危険物規則事務が 警察から市町村に移管される
〃 11月11日	指令車購入（トヨタ、新車）

年 月 日	事 項
昭和46年 11月24日	作業車購入（日産、ダットサン）
昭和47年 1月14日	日本損害保険協会から消防ポンプ自動車（ジープ型）寄贈される
〃 4月24日	消防無線機設置
〃 5月15日	本土復帰 市の機構改革に伴い、消防本部に課設置（総務課、警防課）
〃 6月1日	救急業務が警察から市町村に移管される
〃 6月5日	職員増を図る 消防職員27名 消防団員5名
〃 7月10日	職員増を図る 消防職員31名 消防団員5名
〃 12月25日	救急自動車配置（国庫補助、トヨタ）
昭和48年 5月10日	職員増を図る 消防職員32名 消防団員5名
昭和49年 2月4日	消防無線、市町村波許可
〃 2月18日	消防庁舎増築
〃 12月12日	救助工作車配置、救助隊編成（10名）
昭和50年 2月3日	救急車1台日本損害保険から寄贈
〃 6月15日	沖縄海洋博、本部町今帰仁村消防署へ3名派遣（6ヶ月）
〃 8月1日	本部に予防課新設
〃 12月6日	水槽付消防ポンプ自動車購入
昭和51年 1月6日	宜野湾市消防音楽隊発足（17名）
昭和52年 2月1日	指令台の設置（海洋博協会から寄贈）
〃 12月5日	指令車購入
昭和53年 3月18日	宜野湾市消防署我如古出張所落成
〃 4月1日	職員増員17名 職員60名
〃 4月10日	宜野湾市消防署我如古出張所業務開始 職員21名配置
〃 9月21日	救急車日本消防協会から寄贈
昭和54年 2月19日	水槽付消防ポンプ自動車配置（11号車）
〃 11月22日	はしご付消防ポンプ自動車配置（32メートル級）
昭和55年 3月28日	連絡車配置（4号車）
〃 6月16日	救助用アルミボート購入
〃 6月19日	資機材搬送車配置（5号車）
〃 9月10日	火災保険号（水槽付消防ポンプ自動車）日本損害保険協会から寄贈（13号車）
〃 11月1日	第2代消防団長 古波藏 正男 就任
〃 12月18日	消防無線県内共通波許可
昭和56年 3月27日	救急車配置（6号車）
〃 3月30日	指令車配置（1号車）
〃 12月20日	小型動力ポンプ付積載車配置（9号車）
昭和57年 7月27日	宜野湾市消防音楽隊規定の改正
〃 12月24日	小型動力ポンプ付水槽車（積載水量10,000ℓ）配置（17号車）
昭和58年 6月30日	宜野湾市救急業務規定の改定
〃 8月1日	消防本部組織規則、消防署組織規定を全部改正

年 月 日	事 項
昭和58年 8 月 1 日	教育委員会事務局へ1名出向
〃 10 月 7 日	予防広報車配置（2号車）
〃 10月27日	消防ポンプ車（BD I型）配置（10号車）
昭和59年 3 月 30 日	旅館、ホテル等に「適合マーク」交付開始
〃 4 月 1 日	消防団員の定員、任命、服務等に関する条例の全部改正
〃 4 月 1 日	消防団員定数22名
〃 7 月 31 日	初代消防長 大城 仁幸 退任
〃 8 月 1 日	第2代消防長 国吉 真義 就任
〃 10 月 1 日	消防団員10名増員（男4名、女6名）県下初の婦人消防団員誕生
〃 10 月 1 日	消防団員の組織及び消防団員の階級等に関する規則施行
〃 12 月 15 日	職員欠員補充1名 その他の職員（女子）配置
〃 12 月 26 日	水槽付消防ポンプ自動車配置（12号車）
昭和60年 2 月 5 日	救急車配置（7号車）
〃 3 月 29 日	連絡車配置（3号車）
〃 4 月 1 日	国体部へ1名出向
〃 11 月 26 日	消防新庁舎竣工 〈防衛庁補助〉
〃 11 月 30 日	第2代消防長 国吉 真義 退任
〃 12 月 1 日	第3代消防長 呉屋 好永 就任
〃 12 月 18 日	水槽付消防ポンプ自動車配置（14号車）
〃 12 月 27 日	救急指令台B型及び基地固定局無線設備設置 〈国庫補助〉
〃 12 月 27 日	旧庁舎から移転
昭和61年 3 月 4 日	消防庁舎落成式
〃 8 月 21 日	消防職員2名採用
〃 12 月 5 日	軍、民消防相互援助協約締結
〃 12 月 12 日	宜野湾市消防安全管理規定施行
〃 12 月 12 日	宜野湾市消防における訓練時安全管理要綱施行
昭和62年 3 月 1 日	救急車配置（6号車）代替
〃 4 月 15 日	消防職員2名採用
〃 3 月 31 日	第3代消防長 呉屋 好永 退任
〃 4 月 1 日	第4代消防長 島田 政朝 就任
〃 10 月 6 日	沖縄自動車道における消防及び救急等の業務に関する覚書の締結
〃 12 月 1 日	国体部から消防へ1名異動
〃 12 月 24 日	救助工作車配置 代替
昭和63年 4 月 25 日	消防本部内勤務配置替
〃 5 月 17 日	総務課長（島袋全吉）市長部局へ出向
〃 5 月 17 日	総務課長（稲福淑雄）市長部局より出向
平成元年 3 月 3 日	水槽付消防ポンプ自動車購入（13号車代替） 〈国庫補助〉
〃 3 月 26 日	資器材搬送車購入（5号車代替） 〈単独〉
〃 3 月 28 日	水難救助用ゴムボート購入
〃 3 月 31 日	第4代消防長 島田 政朝 退任
〃 4 月 1 日	第5代消防長 多和田 真隆 就任

年 月 日	事 項
平成元年 4 月 1 日	消防職員 2 名採用
〃 9 月 12 日	連絡車（4 号車）代替
平成 2 年 2 月 13 日	指令車（1 号車）代替
〃 3 月 19 日	積載車購入 代替
平成 3 年 3 月 25 日	水槽付消防ポンプ自動車配置（1 1 号車） 〈国庫補助〉
〃 〃	無線機購入（1 1 号車） 1 0 ワット
〃 3 月 30 日	救急車配置（7 号車） 〈沖縄県補助〉
平成 4 年 1 月 31 日	第 2 代消防団長 古波藏 正男 退任
〃 3 月 17 日	緊急人員輸送車配置（1 8 号） 〈沖縄県補助〉
〃 5 月 1 日	第 3 代消防団長 伊波 廣助 就任
〃 7 月 1 日	救急救命士採用（1 名）
平成 5 年 4 月 2 日	職員増員 5 名 職員定数 6 3 名
平成 6 年 1 月 27 日	予防広報車購入 （旧広報車廃車） 〈沖縄県補助〉
〃 10 月 3 日	職員増員 5 名
平成 7 年 1 月 5 日	職員増員 9 名
〃 1 月 31 日	水槽付消防ポンプ自動車（水Ⅱ型）購入 （2 1 号車） 〈国庫補助〉
〃 2 月 28 日	連絡車購入（1 9 号車）
〃 3 月 1 日	救急救命士採用（2 名）職員定数 8 0 名
〃 3 月 23 日	宜野湾市消防署真志喜出張所落成 〈防衛庁補助〉
〃 3 月 29 日	救急車購入（8 号車） 〈沖縄県補助〉
〃 3 月 30 日	資器材運搬車購入（2 0 号車）
〃 4 月 1 日	宜野湾市消防署真志喜出張所業務開始
〃 9 月	緊急消防援助隊 消火隊 1 隊登録
〃 11 月 6 日	高度救急処置用資器材（プロパック 1 0 2 E L）購入（6 号車）
平成 8 年 2 月 1 日	小型動力ポンプ付水槽車（1 7 号車） 代替
〃 2 月 15 日	携帯無線機（5 W）3 基購入
〃 2 月 26 日	水槽付消防ポンプ自動車購入（2 2 号車） 〈国庫補助〉
〃 3 月 18 日	指揮広報車（3 号車）代替 〈沖縄県補助〉
〃 3 月 18 日	我如古出張所無線基地局 代替 〈沖縄県補助〉
〃 3 月 21 日	宜野湾市消防署真志喜出張所訓練塔落成 〈国庫補助〉
〃 9 月 5 日	小型動力ポンプ購入 （消防団）
〃 11 月 11 日	高度救急処置用資器材（プロパック 1 0 2 E L）購入（7 号車）
〃 11 月 15 日	水難救助用ジェットスキー購入（真志喜出張所配置）
平成 9 年 3 月 28 日	携帯無線機（V I S A R）2 2 基購入 〈沖縄県補助〉
〃 10 月 30 日	高度救急処置用資器材（プロパック 1 0 2 E L）購入（8 号車）
平成 10 年 3 月 20 日	救急車（7 号車）代替 〈沖縄県補助〉
〃 3 月 31 日	5 代消防長 多和田 真隆 退任
〃 4 月 1 日	6 代消防長 神里 常厚 就任
〃 3 月 18 日	救急救命士採用（3 名）職員定数 8 0 名
〃 9 月 30 日	自動式心マッサージ器（サンパー 1 0 0 型）購入（6 号車）
平成 11 年 1 月 12 日	救急救助資機材（空気呼吸器・マルチカッター）購入 〈沖縄県補助〉

年 月 日	事 項
平成11年 2月26日	救助艇船外機購入（真志喜出張所）
〃 3月16日	消防緊急通信指令施設設置（代替） 〈国庫補助〉
平成12年 1月28日	気象情報収集装置購入 〈国庫補助〉
〃 2月17日	高規格救急自動車購入（自治省補助）
〃 2月18日	消防資機材（耐熱服、消防用ホース）購入 〈沖縄県補助〉
〃 4月1日	九州・沖縄サミット消防警備対策班事務局へ1名出向（7月31日まで）
〃 6月8日	はしご付消防自動車購入40m級（16号車代替） 〈国庫補助、明繰事業〉
〃 7月19日	九州・沖縄サミット消防特別警戒（警備、救急、ポンプ隊） 18名派遣
平成13年 2月22日	現場指揮車購入（1号車代替） 〈沖縄県補助〉
〃 3月13日	消防水難救助艇一式購入（代替）
〃 3月26日	救急救命士研修（1名） 救急救命九州研修所
〃 3月31日	第6代消防長 神里 常厚 退任
〃 4月1日	第7代消防長 上江洲 勇 就任
〃 4月1日	沖縄県消防学校へ1名出向（学校教官）
〃 8月21日	水槽付消防ポンプ自動車（水Ⅱ型）、12号車代替 〈国庫補助、明繰事業〉
平成14年 2月19日	救急救命資機材購入（空気呼吸器5式、空気呼吸器用ボンベ13本）〈沖縄県補助〉
平成15年 3月19日	資機材搬送車購入（9号車代替） 〈沖縄県補助〉
〃 3月25日	救急救命士研修（1名） 救急救命九州研修所
〃 4月1日	救急救命士2名採用（欠員補充）
〃 7月11日	宜野湾市消防音楽隊規程を廃止する
平成16年 1月29日	消防用資機材（エアーテント）購入 〈沖縄県補助〉
〃 2月25日	水槽付消防ポンプ自動車購入（14号車代替） 〈国庫補助〉
〃 3月10日	高規格救急自動車購入（8号車代替） 〈国庫補助〉
〃 3月23日	救急救命士研修（1名） 救急救命九州研修所
〃 4月1日	消防本部に警防課新設
〃 9月28日	救急救命士研修（1名） 救急救命九州研修所
平成17年 3月4日	消防庁長官から竿頭綬の授与
〃 3月18日	救助工作車購入（15号車代替） 〈国庫補助〉
〃 3月23日	救急救命士研修（1名） 救急救命九州研修所
〃 4月1日	救急救命士2名採用（欠員補充）
〃 9月	緊急消防援助隊 消火隊1隊登録 計2隊
〃 9月27日	救急救命士研修（1名） 救急救命九州研修所
平成18年 2月21日	災害対応水槽付ポンプ自動車（13号代替） 〈17年度国庫補助〉
〃 3月22日	防火衣購入 〈沖縄県補助〉
〃 4月1日	救急救命士2名採用（欠員補充）
〃 9月13日	救急救命士研修（1名） 救急救命九州研修所
平成19年 2月23日	予防広報車購入（2号車代替） 〈沖縄県補助〉
〃 2月28日	高規格救急自動車購入（7号車代替） 〈国庫補助〉
〃 4月1日	消防職員3名、救急救命士3名採用（欠員補充）
〃 9月13日	救急救命士研修（1名） 救急救命九州研修所
〃 12月26日	資機材搬送車購入（5号車代替） 〈沖縄県補助〉

年 月 日	事 項
平成20年 1月24日	災害対応水槽付ポンプ自動車（11号代替）〈国庫補助〉
〃 2月22日	防災活動車交付（10号車）〈19年度福祉共済事業等 日本消防協会〉
〃 3月31日	第7代消防長 上江洲 勇 退任
〃 4月1日	第8代消防長 呉屋 正成 就任
〃 4月1日	消防職員2名、救急救命士2名採用（欠員補充）
〃 9月8日	救急救命士研修（1名） 救急救命九州研修所
平成21年 3月13日	指揮広報車（3号車代替）〈沖縄県補助〉
〃 4月1日	消防職員3名、救急救命士2名採用（欠員補充）
〃 11月30日	緊急人員輸送車配置（18号車代替）〈沖縄県補助〉
平成22年 2月18日	水難救助用ジェットスキー購入（代替）
〃 3月12日	高規格救急自動車購入（6号車代替）〈防衛補助〉
〃 3月31日	第8代消防長 呉屋 正成 退任
〃 4月1日	第9代消防長 平安名 常明 就任
〃 4月1日	消防職員4名 採用（欠員補充）
〃 4月1日	沖縄県消防広域化等研究協議会へ1名派遣
〃 6月30日	連絡車購入（4号車代替）〈単 独〉
〃 10月17日	消防大学校（警防科）へ1名派遣
〃 12月27日	資機材搬送車購入（20号車代替）〈沖縄県補助〉
平成23年 3月17日	東日本大震災 緊急消防援助隊隊員5名・水槽付消防ポンプ自動車1台派遣
〃 4月1日	消防職員3名 採用（欠員補充）
〃 4月1日	沖縄県消防広域化推進協議会へ1名派遣
〃 6月8日	消防大学校（火災調査科）へ1名派遣
〃 10月1日	第4代消防団長 濱元 朝晴 就任
〃 10月18日	消防大学校（警防科）へ1名派遣
平成24年 3月31日	第9代消防長 平安名 常明 退任
〃 4月1日	第10代消防長 大嶺 清光 就任
〃 4月1日	消防職員8名 採用（欠員補充）
〃 4月1日	沖縄県消防学校へ1名出向（学校教官）
〃 4月1日	市長事務部局（総務部市民防災室）へ1名異動（人事交流）
〃 6月12日	消防大学校（幹部科）へ1名派遣
平成25年 1月9日	消防資器材 空気ボンベエアコンプレッサー購入 〈沖縄県補助〉
〃 1月21日	救助艇・トレーラー代替 〈一括交付金〉
〃 3月31日	第10代消防長 大嶺 清光 退任
〃 4月1日	第11代消防長 米須 清一 就任
〃 4月1日	消防職員4名採用（欠員補充）
〃 4月1日	沖縄県消防通信指令施設運営協議会へ1名派遣
〃 5月27日	消防ポンプ自動車(CD-1)2台購入(21号車、22号車代替)〈一括交付金〉
〃 8月22日	第42回全国消防救助技術大会（はしご登はん）へ1名派遣
〃 8月24日	消防大学校（救助科）へ1名派遣
〃 12月18日	特殊災害対応資機材購入 〈一括交付金〉
平成26年 1月31日	指揮支援車購入（19号車代替）〈沖縄県補助〉

年 月 日	事 項
平成26年 3月6日	高規格救急自動車購入（8号車代替） 〈防衛補助〉
〃 3月31日	第11代消防長 米須 清一 退任
〃 4月1日	第12代消防長 浜川 秀雄 就任
〃 4月1日	消防職員定数80名から86名へ
〃 4月1日	消防職員3名採用
〃 4月1日	総務課 係統合により総務係新設
〃 11月8日	第24回全国消防操法大会（ポンプ車の部）へ団員6名派遣
〃 12月3日	我如古出張所 16名体制から19名体制へ増員
〃 12月12日	消防資機材（空気呼吸器10式・空気呼吸器用ボンベ20本）購入 〈沖縄県補助〉
平成27年 3月20日	小型動力ポンプ付水槽車購入（17号車代替） 〈防衛調整交付金〉
〃 4月1日	消防職員4名採用
〃 4月1日	沖縄県消防通信指令施設運営協議会へ1名（情報政策監理官）派遣
〃 4月1日	消防団員定数22名から30名へ
〃 8月12日	救急救命九州研修所（指導救命士研修）へ1名派遣
〃 9月1日	沖縄県消防通信指令施設運営協議会（沖縄県消防指令センター）へ2名派遣
〃 10月23日	119番受信業務を沖縄県消防指令センターへ移行（宜野湾市）
〃 10月23日	消防救急無線をアナログ方式からデジタル方式へ変更
〃 10月23日	高機能消防指令システムを導入し運用開始
平成28年 1月28日	高規格救急自動車購入（23号車） 〈防衛調整交付金〉
〃 2月1日	現場指揮車購入（1号車） 〈沖縄県補助〉
〃 4月1日	消防職員5名採用
〃 4月1日	沖縄県消防指令センター運用開始（14消防本部、12非常備町村 計26団体）
〃 4月20日	熊本地震 緊急消防援助隊 隊員5名派遣
〃 6月29日	救急救命九州研修所（指導救命士研修）へ1名派遣
〃 8月15日	消防団小型動力ポンプ購入 〈消防団備品購入費〉
平成29年 2月7日	救急救助資機材購入 〈沖縄県補助〉
〃 4月1日	消防職員定数86名から91名へ
〃 4月1日	消防職員5名採用
〃 5月15日	救急救命九州研修所（指導救命士研修）へ1名派遣
〃 6月8日	消防大学校（警防科）へ1名派遣
〃 9月4日	救急救命九州研修所（新規養成課程）へ1名派遣
平成30年 2月26日	防火服購入（上下30着） 〈沖縄県補助〉
〃 3月28日	水槽付消防ポンプ自動車購入（12号車代替） 〈防衛調整交付金〉
〃 4月1日	沖縄県消防学校へ1名出向（学校教官）
〃 4月1日	消防職員6名採用
〃 4月1日	消防署へ管理担当主査配置（警防課業務一部移管）
〃 6月12日	消防大学校（幹部科）へ1名派遣
平成31年 1月7日	防火服購入（上下30着） 〈沖縄県補助〉
〃 3月19日	高規格救急自動車購入（7号車代替） 〈防衛調整交付金〉
〃 4月1日	消防職員1名採用
令和元年 11月7日	救助資機材搭載型消防ポンプ自動車（24号車） 〈総務省消防庁〉

年 月 日	事 項
令和元年 11月13日	第24回全国女性消防操法大会へ団員8名派遣
令和元年 12月18日	救急用資機材一式購入 〈沖縄県補助〉
令和2年 2月25日	高規格救急自動車購入（6号車代替） 〈防衛調整交付金〉
〃 4月1日	消防職員2名採用
〃 8月19日	消防大学校（救助科）へ1名派遣
〃 9月9日	消防署我如古出張所改築事業の第1期工事が完了し、新庁舎にて業務開始
〃 10月1日	消防職員2名採用
〃 12月11日	水難救助用水上バイク・トレーラー購入 〈沖縄県補助〉
令和3年 1月1日	消防長の階級を消防監へ、消防次長の階級を消防司令長へ変更
〃 4月1日	消防職員定数91名から105名へ
〃 4月1日	消防職員2名採用・再任用職員1名採用
〃 9月3日	救急救命九州研修所（新規養成課程）へ1名派遣
〃 11月24日	はしご付消防自動車購入40m級（16号車代替） 〈防衛調整交付金〉
令和4年 1月31日	救急用資機材一式購入 〈沖縄県補助〉
〃 2月14日	宜野湾市消防署我如古出張所落成（本格運用開始） 〈防衛補助〉
〃 3月30日	資機材搬送車購入（9号車代替） 〈防衛調整交付金〉
〃 4月1日	消防職員3名採用
〃 4月1日	消防団員定数30名から40名へ
〃 7月12日	救急救命九州研修所（指導救命士養成研修）へ1名派遣
〃 8月1日	消防職員1名採用（宜野湾市初の女性消防職員）
令和5年 2月28日	救助艇・トレーラー代替 〈沖縄県補助〉
〃 3月20日	水槽付消防ポンプ自動車購入（14号車代替） 〈防衛調整交付金〉
〃 4月1日	消防職員2名採用
〃 7月11日	宜野湾市消防訓制定
令和6年 1月22日	高規格救急自動車購入（8号車代替） 〈防衛補助〉
〃 1月23日	災害消防用広報車（2号車代替） 〈沖縄県補助〉
〃 3月31日	第12代消防長 浜川 秀雄 退任
〃 4月1日	第13代消防長 又吉 清 就任
〃 4月1日	消防職員1名採用
〃 4月1日	真志喜出張所へ管理担当主査配置（受付業務一部移管）
〃 5月7日	真志喜出張所へ高規格救急自動車5台目配備
〃 12月19日	災害消防用広報車（5号車代替） 〈沖縄県補助〉
令和7年 3月25日	水槽付消防ポンプ自動車購入（13号車代替） 〈防衛調整交付金〉
〃 3月31日	第13代消防長 又吉 清 退任
〃 4月1日	第14代消防長 島袋 保 就任
〃 4月1日	消防職員定数105名から110名へ
〃 4月1日	消防職員3名採用・再任用職員1名採用
	～ 以下余白 ～

歴代消防長

代	職名	氏名	就任年月日	退任年月日
初代	消防長	大城 仁 幸	昭和39年7月1日	昭和59年7月31日
2代	〃	国吉 真 義	昭和59年8月1日	昭和60年11月30日
3代	〃	呉 屋 好 永	昭和60年12月1日	昭和62年3月31日
4代	〃	島 田 政 朝	昭和62年4月1日	平成元年3月31日
5代	〃	多和田 真 隆	平成元年4月1日	平成10年3月31日
6代	〃	神 里 常 厚	平成10年4月1日	平成13年3月31日
7代	〃	上 江 洲 勇	平成13年4月1日	平成20年3月31日
8代	〃	呉 屋 正 成	平成20年4月1日	平成22年3月31日
9代	〃	平 安 名 常 明	平成22年4月1日	平成24年3月31日
10代	〃	大 嶺 清 光	平成24年4月1日	平成25年3月31日
11代	〃	米 須 清 一	平成25年4月1日	平成26年3月31日
12代	〃	浜 川 秀 雄	平成26年4月1日	令和6年3月31日
13代	〃	又 吉 清	令和6年4月1日	令和7年3月31日
14代	〃	島 袋 保	令和7年4月1日	現 在

歴代消防隊長・消防団長

代	職名	氏名	就任年月日	備 考
初代	隊長	宮 城 光 雄	昭和24年4月29日	
2代	〃	宮 城 豊 吉	昭和27年10月	
3代	〃	照 屋 毅	昭和30年1月	
4代	〃	大 城 仁 幸	昭和31年6月1日	
初代	団 長	大 城 仁 幸	昭和38年7月1日	消防組織法に基づき消防隊を消防団に改称する。
2代	〃	古波藏 正 男	昭和55年11月1日	
3代	〃	伊 波 廣 助	平成4年5月1日	
4代	〃	濱 元 朝 晴	平成23年10月1日	現 在



組 織 ・ 人 事

組 織 人 事 概 要

平成30年4月1日より消防署の人員を増員し、消防署に配備している2台の高規格救急自動車を連続して救急出動させることが可能になり、救急体制の強化が図られました。

令和3年度には、年々増加する防火対象物に対する予防業務や、キャンプ瑞慶覧西普天間住宅地区返還後の開発等による予防関係業務の増大に対応するため、予防課の人員を増員しています。令和4年度には、本市初となる女性消防職員1名を採用。また、地域防災の中核となる消防団の充実強化や、消防車両及び資機材等の整備を計画的に行い、年々複雑多様化する災害に対応する消防体制の維持・強化を図るため、警防課の人員も増員しています。

令和6年度より真志喜出張所に高規格救急自動車を2台配備し、市内で計5隊の救急隊の運用が可能となりました。

・消防職員定数の推移

	～	平成7年3月	平成26年4月	平成29年4月	令和3年4月	令和7年4月
消防職員定数	～	80	86	91	105	110

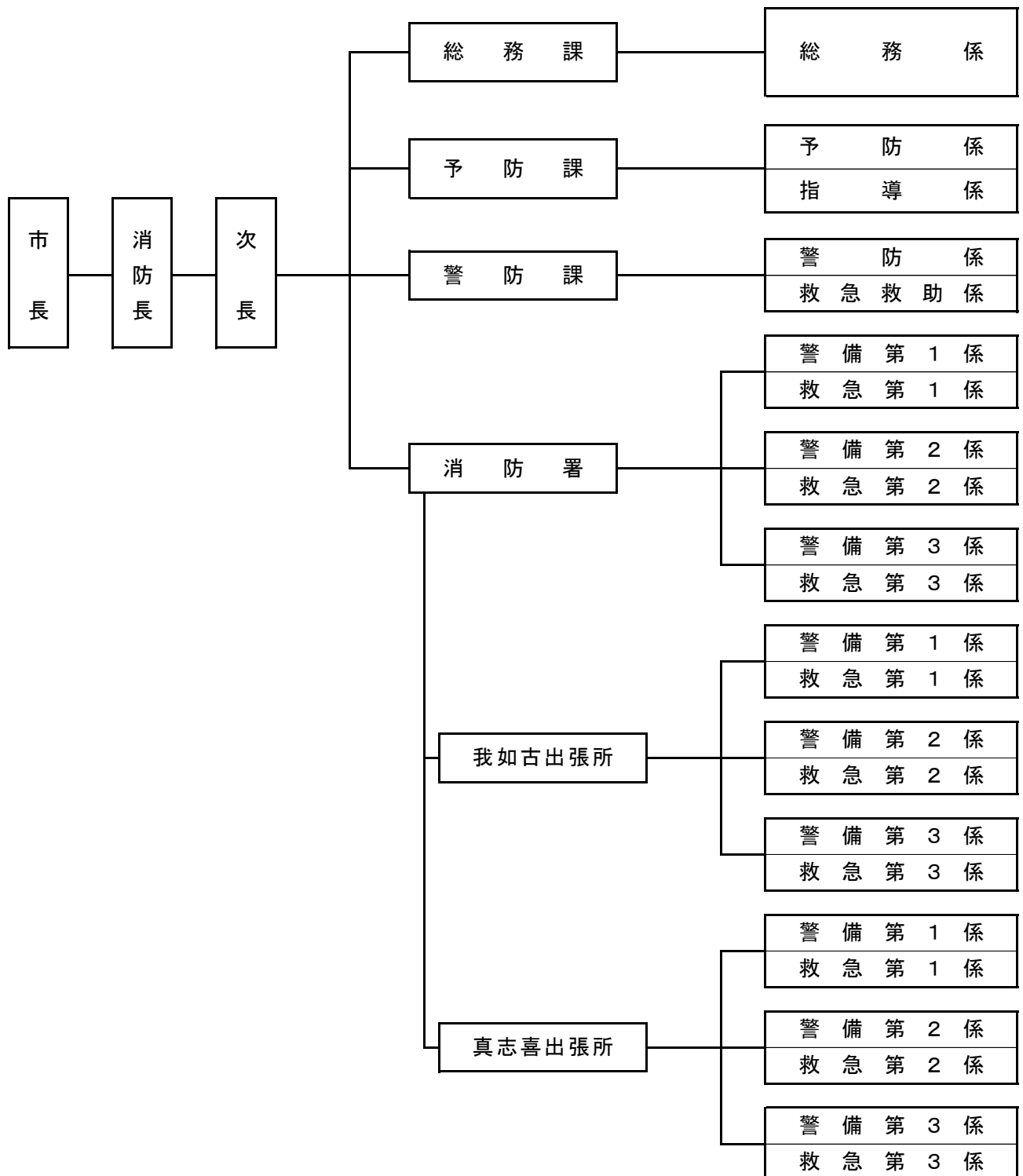
・過去5年の消防本部職員数(他機関等出向者含む)

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
消防本部職員数	94	96	98	99	99

・過去5年の署所の一日当たりの配置人員

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
消防署	11	12	12	12	12
我如古出張所	6	6	6	6	6
真志喜出張所	6	6	6	6	6

宜野湾市消防本部組織図



消防本部・消防署の事務分掌

《総務課》

- 1 消防本部内の事業管理業務に係る次の事項に関すること。
 - (1) 部の諸計画の調整と立案
 - (2) 部の業務執行方針と統括
 - (3) 部の業務及び予算の執行管理
 - (4) 部の予算編成及び決算調整
 - (5) 部の事務改善、条例、規則、訓令の改廃等
 - (6) 部の伝票管理(支出負担行為、支出命令、調定行為等)
- 2 職員及び団員の任免、分限、服務、賞罰に関すること。
- 3 職員及び団員の公務災害補償に関すること。
- 4 職員及び団員の福利厚生に関すること。
- 5 職員の給与及び団員の報酬に関すること。
- 6 職員の配置及び勤務に関すること。
- 7 職員の貸与品に関すること。
- 8 職員の研修及び教養に関すること。
- 9 表彰に関すること。
- 10 儀式、その他諸行事に関すること。
- 11 公印の保管に関すること。
- 12 物品の維持管理に関すること。
- 13 施設の維持管理に関すること。
- 14 消防統計(火災及び救急救助統計を除く。)に関すること。
- 15 消防長会及び消防協会に関すること。
- 16 沖縄県消防通信指令施設運営協議会に関すること。
- 17 他の課の所管に属しないこと。

《予防課》

- 1 火災予防諸計画に関すること。
- 2 火災予防の指導及び広報に関すること。
- 3 防火管理者の選任及び指導に関すること。
- 4 危険物の許可、認可及び規制に関すること。
- 5 避難管理に関すること。
- 6 少量危険物及び指定可燃物等の規制に関すること。

- 7 煙火、高圧ガスその他特殊な物質の防火に関する事。
- 8 建築物の確認、許認可の同意に関する事。
- 9 消防用設備等の設置指導及び検査に関する事。
- 10 予防査察及び防火指導に関する事。
- 11 火気及び電気使用設備、器具等の防火に関する事。
- 12 火災調査に関する事。
- 13 防災処理に関する事。
- 14 自衛消防組織の育成指導に関する事。
- 15 火災統計及び消防詳報に関する事。
- 16 災害による諸証明の発行に関する事。
- 17 火災予防条例に基づく諸届出の受理及び規制に関する事。

《警防課》

- 1 警防計画に関する事。
- 2 水火災その他災害の警戒防御に関する事。
- 3 消防通信機器の運用に関する事。
- 4 消防水利の設置計画及び対策に関する事。
- 5 各種講習会の計画に関する事。
- 6 消防署員及び団員の教養、訓練、演習等の計画実施に関する事。
- 7 消防自動車及び機械器具の整備点検及び維持管理に関する事。
- 8 消防自動車の登録及び車検に関する事。
- 9 消防相互応援協定に関する事。
- 10 災害報告及び統計に関する事。
- 11 消防団に関する事。
- 12 救急業務の講習、計画及び実施指導に関する事。
- 13 救急報告、救助報告及び救急救助統計に関する事。
- 14 医療機関その他関係機関との連絡調整に関する事。
- 15 火災予防条例第45条第2号及び第6号に基づく届出の受理に関する事。
- 16 気象情報に関する事。
- 17 その他警防庶務に関する事。

《消防署・出張所》

- 1 水火災、救急、救助、その他災害の警戒防御に関すること。
- 2 水火災、救急、救助、その他災害の受報及び出動指令に関すること。
- 3 水火災、救急及び救助業務の実施に関すること。
- 4 消防特別警戒の実施に関すること。
- 5 消防水利の調査及び点検に関すること。
- 6 消防通信に関すること。
- 7 気象情報及び火災警報に関すること。
- 8 自衛消防の訓練指導に関すること。
- 9 防火対象物及び消防対象物の立入検査に関すること。
- 10 火災、その他諸災害の原因及び損害の調査に関すること。
- 11 火災予防条例第45条(第2号及び第6号を除く。)に基づく届出の受理に関すること。
- 12 消防署員の教養、訓練、演習等の計画実施に関すること。
- 13 消防団員の訓練指導に関すること。
- 14 庁舎、消防用車両及び機械器具等の維持管理に関すること。
- 15 その他消防署庶務に関すること。

職 員 配 置 状 況

令和7年4月1日現在

階 級 区 分		消防監	消 防 司令長	消 防 司 令	消 防 司令補	消 防 士 長	消 防 副士長	消防士	計
消 防 本 部	消 防 長	1							1
	総 務 課	次長兼総務課長	1						1
		総 務 係 長			1				1
		総務担当主査			1				1
		総 務 係				1			1
		そ の 他（派遣等）		1	2	1			4
	予 防 課	予 防 課 長		1					1
		予 防 係 長			1				1
		予 防 係				3			3
		指 導 係 長			1				1
		指 導 係				1			1
	警 防 課	警 防 課 長		1					1
		警 防 係 長			1				1
		警防担当主査			1				1
		救急救助係長			1				1
		救急救助係				1			1
	小 計		1	1	3	9	7	0	21
消 防 署	消 防 署	署 長		1					1
		管理担当主査			1				1
		警 備 第 1 係			2	2	3	2	9
		救 急 第 1 係			1	1	1		3
		警 備 第 2 係			2	2	3	2	9
		救 急 第 2 係			1	1		1	3
		警 備 第 3 係			2	2	3	2	9
		救 急 第 3 係			1	1		1	3
	我 如 古 出 張 所	所 長		1					1
		警 備 第 1 係			1	1		1	3
		救 急 第 1 係			1	1	1		3
		警 備 第 2 係			1	1		1	3
		救 急 第 2 係			1	1	1		3
		警 備 第 3 係			1	1	1		3
		救 急 第 3 係			1	1	1		3
		小 計	0	0	3	23	18	12	78
	真 志 喜 出 張 所	所 長		1					1
		管理担当主査			1				1
		警 備 第 1 係			1	1	1		3
		救 急 第 1 係			1	1	1		3
		警 備 第 2 係			1	1	1		3
		救 急 第 2 係			1	1	1		3
		警 備 第 3 係			1	2		1	4
		救 急 第 3 係			1	1		1	3
	小 計		0	0	3	23	22	18	78
合 計		1	1	6	32	29	18	12	99

消 防 職 員 定 数 及 び 実 数

令和 7 年 4 月 1 日現在

区 分 \ 階 級	消防監	消 防 司令長	消 防 司 令	消 防 司令補	消 防 士 長	消 防 副士長	消防士	その他 職 員	計
階 級 章									
定 数	110								110
実 数	1	1	6	32	29	18	12	0	99

年 度 別 職 員 数

令和 7 年 4 月 1 日現在

年 度 \ 階 級	消防監	消 防 司令長	消 防 司 令	消 防 司令補	消 防 士 長	消 防 副士長	消防士	その他 職 員	計
平成 2 8 年度	0	1	7	30	19	9	24	0	90
平成 2 9 年度	0	1	7	29	21	9	24	0	91
平成 3 0 年度	0	1	7	30	20	13	22	0	93
令和元年度	0	1	7	31	19	14	19	0	91
令和 2 年度	0	1	7	30	20	14	19	0	91
令和 3 年度	1	1	6	28	25	12	21	0	94
令和 4 年度	1	1	6	29	25	14	20	0	96
令和 5 年度	1	1	6	30	27	18	15	0	98
令和 6 年度	1	1	6	32	27	18	14	0	99
令和 7 年度	1	1	6	32	29	18	12	0	99

職員の階級別・年齢別構成表

令和7年4月1日現在

年 齢	総 数	消防監	消 防 司令長	消 防 司 令	消 防 司令補	消 防 士 長	消 防 副士長	消防士
総 数	99	1	1	6	32	29	18	12
18歳	0							
19歳	0							
20歳	1							1
21歳	3							3
22歳	2							2
23歳	0							
24歳	3							3
25歳	0							
26歳	1							1
27歳	2						1	1
28歳	5						4	1
29歳	3						3	
30歳	3						3	
31歳	5						5	
32歳	3					2	1	
33歳	4					3	1	
34歳	3					3		
35歳	5					5		
36歳	3					3		
37歳	3				1	2		
38歳	2				2			
39歳	6				3	3		
40歳	5				3	2		
41歳	4				2	2		
42歳	3				1	2		
43歳	3				3			
44歳	0							
45歳	2				2			
46歳	0							
47歳	1				1			
48歳	0							
49歳	1				1			
50歳	0							
51歳	4				3	1		
52歳	2			1	1			
53歳	5		1	1	3			
54歳	2				2			
55歳	3			1	2			
56歳	4	1		1	2			
57歳	0							
58歳	0							
59歳	2			2				
60歳	1					1		
平 均 年 齢		56.0	53.0	55.7	46.3	37.8	29.8	23.3
全 体 平 均 年 齢		38.2						

職員の階級別・勤続年数別構成表

令和7年4月1日現在

年 数	総 数	消防監	消 防 司令長	消 防 司 令	消 防 司令補	消 防 士 長	消 防 副士長	消防士
総 数	99	1	1	6	32	29	18	12
0 年	3							3
1 年	1							1
2 年	3							3
3 年	3						1	2
4 年	4						2	2
5 年	2						2	
6 年	1							1
7 年	6						6	
8 年	5						5	
9 年	5					3	2	
10 年	4					4		
11 年	3				2	1		
12 年	3					3		
13 年	8					8		
14 年	3				2	1		
15 年	4				3	1		
16 年	4					4		
17 年	2				1	1		
18 年	5				5			
19 年	1				1			
20 年	2				1	1		
21 年	0							
22 年	2				2			
23 年	1				1			
24 年	0							
25 年	0							
26 年	1				1			
27 年	3				3			
28 年	0							
29 年	1			1				
30 年	12	1	1	1	8	1		
31 年	4			2	2			
32 年	0							
33 年	0							
34 年	0							
35 年	0							
36 年	1			1				
37 年	1					1		
38 年	1			1				
39 年	0							
40 年	0							

職員の教育訓練状況

令和7年4月1日現在

派遣先			年度別	昭和42年度 ～ 平成27年度	平成 28年度	平成 29年度	平成 30年度	令和 元年度	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	計
消防大学校	教 育 合 計	幹 部 科	3			1								4
		警 防 科	7		1								8	
		救 助 科	2					1					3	
		火 災 調 査 科	6									1	7	
		そ の 他	11										11	
沖縄 県 消 防 学 校	初 任 教 育		103	5	5	4	1	1	2	2	3	1	127	
	専 科 教 育	警 防 科	33		1		1			2		1	38	
		救 助 科	23	2		2	2			2	1	1	33	
		特 殊 災 害 科	8	2		2			1		1		14	
		危 険 物 科	7	1		1			1		1		11	
		予 防 査 察 科	17	1	1		1	1	1	1	1	1	25	
		火 災 調 査 科	11		1		1			1		1	15	
		救急科（救急Ⅰ・Ⅱ含む）	141	4	5	2	1	1	1	1	2	1	159	
	幹 部 教 育	初 級 幹 部 科	14										14	
		中 級 幹 部 科	13									1	14	
		上 級 幹 部 科	2		1		1						4	
	特 別 教 育	水 難 救 助 研 修	16		2		1				2		2	23
		ポンプ操法指導員研修	14		2		1			1		1		19
		防火管理指導員研修	6	1	1	1	1				1	1	1	13
		救 急 隊 長 研 修									2	2	1	5
		救急救命士処置拡大研修	2	4	6	8	3							23
		新任救急隊員(救命士)研修	2	2		1				1	1	1	1	9
		気管挿管・薬剤投与追加講習	21											21
	救 急 救 命 研 修 所	救急救命士養成研修	9		1					1				11
		薬 剤 投 与 追 加 講 習	6											6
指 導 救 命 士 研 修		1	1	1						1			4	
感染防止対策強化研修												1	1	
県 外 研 修	福岡市消防学校警防実務研修	6							1			1	8	
	福岡市消防学校予防実務研修	6	1							1			8	
	福岡市消防学校救急実務研修			1									1	
	福岡市消防学校九州地区大規模災害対応実務研修										1		1	
	市 町 村 ア カ デ ミ ー 研 修	9	1	1	1	1				1	1		15	
	東京消防庁受託研修	1		1									2	
そ の 他 研 修	移動式クレーン・玉掛講習	45	2	2	2	3		2		2	2	2	60	
	硫化水素・酸素欠乏作業講習	19						2	2	2	2	2	29	
	チェーンソー取扱講習		2	2									4	
	圧 縮 空 気 保 安 講 習		3	2	2	3	2	2	2	2	2	2	20	
	整備管理者選任前研修				4	7						4	15	
	墜落制止用器具特別教育						2		2				4	
	可搬消防ポンプ等整備資格者講習				1								1	
計			564	32	37	32	28	10	16	24	23	24	790	

職員の資格・技能取得状況

令和7年4月1日現在

種 別		階 級 別	消防監	消 防 司令長	消 防 司令	消 防 司令補	消 防 士 長	消 防 副士長	消防士	計
免 許 自 動 車 運 転	普 通	免 許	1	1	6	32	29	18	12	99
	大 型	免 許	1	1	6	32	29	18	4	91
予 防 関 係	予 防 技 術 資 格 者	査 察	1		3	6	2			12
		設 備 等			2	6	1			9
		危 険 物			2	2				4
	予 防 技 術 検 定 合 格 者	査 察	1		3	15	19	5		43
		設 備 等				7	3			10
		危 険 物				4	1			5
	消 防 設 備 士 免 状	甲 種								0
		乙 種			1	2	4	1		8
	危 険 物 取 扱 者 免 状	甲 種								0
		乙 種	1	1	3	18	12	12	4	51
救 急 関 係	救 急 救 命 士					20	9	6	4	39
	薬 剤 投 与 実 施 認 定 者					19	9	6	3	37
	気 管 挿 管 実 施 認 定 者					12	4	1		17
	処 置 拡 大 実 施 認 定 者					18	9	6	2	35
	J P T E C プ ロ バ イ ダ ー				2	10	14	9	4	39
日 赤	救 急 法 指 導 員					1				1
	救 急 適 任 者 証				1	5	6			12
そ の 他 の 免 許	潜 水 士 免 許		1	1	5	28	28	12	3	78
	小 型 船 舶 免 許		1	1	6	31	28	14	9	90
	特 殊 無 線 技 士	無 線 電 話 (甲)								0
		無 線 電 話 (乙)			1		1			2
		第 二 級 陸 上	1		3	5	1	2		12
		第 三 級 陸 上		1	2	27	27	16	9	82
	小 型 移 動 式 クレーン 運 転 技 能 講 習 修 了 者				5	16	17	3		41
	玉 掛 技 能 講 習 修 了 者				5	11	16	3		35
	酸 素 欠 乏 ・ 硫 化 水 素 作 業 主 任 者				2	16	8			26
	特 定 化 学 物 質 等 作 業 主 任 者					3				3
	第 2 種 衛 生 管 理 者 免 許			1	2	5	1			9
	安 全 衛 生 推 進 者 養 成 講 習 修 了 者			1	4	5	2			12
	ロープ 高 所 作 業 特 別 教 育						2			2
	フルハーネス型 墜 落 制 止 用 器 具 特 別 教 育					3	2			5

消 防 職 員 表 彰

令和7年4月1日現在

表 彰 者		年 度	～令和 元年度	令 和 2年度	令 和 3年度	令 和 4年度	令 和 5年度	令 和 6年度	計
総 務 大 臣	総務大臣表彰（緊援隊）		1						1
消 防 庁 長 官	功 勞 章		5	1					6
	永 年 勤 続 功 勞 章		5	1			1	1	8
	表 彰 旗		1						1
全 国 消 防 長 会 長	消 防 特 別 功 勞 者 表 彰		2						2
	消 防 行 政 功 勞 者 表 彰		1	1					2
	20 年 勤 続 功 勞 者 表 彰		64						64
	25 年 勤 続 功 勞 者 表 彰		50						50
	30 年 勤 続 功 勞 者 表 彰		41				4		45
	35 年 勤 続 功 勞 者 表 彰		6						6
全 国 消 防 協 会 長	全 国 優 良 消 防 職 員 表 彰		25						25
日 本 消 防 協 会 長	功 績 章		10						10
	精 績 章		28						28
	勤 続 章		48				4	12	64
沖 縄 県 知 事	功 勞 章		4					1	5
	永 年 勤 続 功 勞 章		28			1	1		30
沖 縄 県 消 防 協 会 長	優 良 消 防 職 員 表 彰		94						94
	勤 続 章		88	2	1	5	3	5	104
	水 難 救 助 表 彰		1						1
	特 別 表 彰		3						3
沖 縄 県 消 防 協 会 中 部 地 区 支 会 長	20 年 勤 続 表 彰		73		1		2		76
	30 年 勤 続 表 彰		46				4	4	54
安全協会(支部長) “ (連合会会長)	優 良 運 転 者 表 彰		12						12
	“		9						9
宜 野 湾 市 長	善 行 章（出張所警備第二係）		1						1
	優 良 消 防 職 員 表 彰		1						1
	15 年 勤 続 表 彰		9						9

元 消 防 職 団 員 叙 勲 受 章 者

令和7年4月1日現在

階 級	氏 名	叙 勲 種 別	勲 章 名	受 章 年 月 日
元消防司令長	大 城 仁 幸	消 防 関 係 者 叙 勲	勲五等双光旭日章	平 成 15 年 11 月 3 日
元 消 防 司 令	知 名 朝 勇	第4回危険業務従事者叙勲	瑞 宝 単 光 章	平 成 17 年 4 月 29 日
元 消 防 司 令	多 和 田 真 忠	第5回危険業務従事者叙勲	瑞 宝 単 光 章	平 成 17 年 11 月 3 日
元 消 防 司 令	多 和 田 一 夫	第6回危険業務従事者叙勲	瑞 宝 単 光 章	平 成 18 年 4 月 29 日
元 副 団 長	大 城 正 吉	平 成 21 年 秋 の 叙 勲	瑞 宝 単 光 章	平 成 21 年 11 月 3 日
元 消 防 監	多 和 田 真 隆	第14回危険業務従事者叙勲	瑞 宝 双 光 章	平 成 22 年 4 月 29 日
元 消 防 監	上 江 洲 勇	第19回危険業務従事者叙勲	瑞 宝 双 光 章	平 成 24 年 11 月 3 日
元 消 防 司 令	多 和 田 眞 光	第22回危険業務従事者叙勲	瑞 宝 単 光 章	平 成 26 年 4 月 29 日
元消防司令長	呉 屋 正 成	第23回危険業務従事者叙勲	瑞 宝 双 光 章	平 成 26 年 11 月 3 日
元消防司令長	仲 村 春 栄	第25回危険業務従事者叙勲	瑞 宝 単 光 章	平 成 27 年 11 月 3 日
元 消 防 司 令	泉 川 光 喜	第27回危険業務従事者叙勲	瑞 宝 単 光 章	平 成 28 年 11 月 3 日
元 消 防 司 令	古 波 藏 正 英	第29回危険業務従事者叙勲	瑞 宝 単 光 章	平 成 29 年 11 月 3 日
元 消 防 司 令	伊 佐 禎 一 郎	第31回危険業務従事者叙勲	瑞 宝 単 光 章	平 成 30 年 11 月 3 日
元 消 防 司 令	渡 慶 次 喜 光	第32回危険業務従事者叙勲	瑞 宝 単 光 章	令 和 元 年 5 月 21 日
元消防司令長	大 嶺 清 光	第33回危険業務従事者叙勲	瑞 宝 双 光 章	令 和 元 年 11 月 3 日
元消防司令長	米 須 清 一	第34回危険業務従事者叙勲	瑞 宝 双 光 章	令 和 2 年 4 月 29 日
元 消 防 司 令	呉 屋 信 栄	第35回危険業務従事者叙勲	瑞 宝 単 光 章	令 和 2 年 11 月 3 日
元 消 防 司 令	具 志 堅 重 光	第36回危険業務従事者叙勲	瑞 宝 単 光 章	令 和 3 年 4 月 29 日

消防力の整備指針と現有消防力との比較

令和7年4月1日現在

区 分		車 両 等			人 員		
		算定数	整備数	不足数	算定数	現員数	不対算 足す定 数に
署 所		3	3	0	ア	イ	アーイ
警 防 要 員	指 揮 車	1	1	0	9	78	—
	消防ポンプ自動車	6	6	0	86		—
	は し ご 車	1	1	0	0 注1		—
	救 助 工 作 車	1	1	0	16		—
	特 殊 車 等	1	1	0	0 注1		—
	救 急 自 動 車	5	5	0	9 注2		—
	小 計	15	15	0	120	78	42
通 信 員		—	—	—	4	4 注3	—
予 防 要 員		—	—	—	18	10	8
	専任の予防要員	—	—	—	15	7	
	警防要員をもって充てる人員数	—	—	—	3	3	
総務事務等の執行の要員		—	—	—	11	11	0
総 数		15	15	0	150 注4	100 注4	50

※算定数は令和7年度消防施設整備計画実態調査で算出した数値を使用しています。

◎算定数（ア）に対する充足率 $100人 \div 150人 \div 67\%$

注1 はしご車及び特殊車等（水槽車）については、乗換運用となっています。

注2 救急車5台のうち4台は兼務運用のため算定数には計上していません。

注3 通信員の現員数にあつては沖縄県消防指令センター派遣職員となっています。

注4 人員における算定数及び現員数の総数は「警防要員」「通信員」「専任の予防要員」「総務事務等の執行の要員」を足した数となっています。（再任用職員1名含む）

面積・人口・世帯数に対する消防力

令和7年4月1日現在

区 分	職 員 1 人 当 り	救 急 車 1 台 当 り	ポ ン プ 車 1 台 当 り
面 積	0.20 K m ²	3.96 K m ²	3.30 K m ²
(19.8 K m ²)			
人 口	1,000 人	20,006 人	16,672 人
(100,032 人)			
世 帯 数	483 世帯	9,654 世帯	8,045 世帯
(48,271 世帯)			

消防相互応援協定等の状況

令和7年4月1日現在

協定の名称	協定機関	内容	締結年月日
消防相互援助協約	バトラー消防本部(米軍基地内)	火災 その他の災害	平成23年1月19日
沖縄自動車道における 消防相互応援協定	那覇市 東部消防組合 浦添市 中城北中城消防組合 沖縄市 うるま市 金武地区消防衛生組合 名護市	火災、救急 その他の災害	平成30年8月31日
沖縄自動車道における 消防及び救急等の業務に 関する覚書	那覇市 東部消防組合 浦添市 中城北中城消防組合 沖縄市 うるま市 金武地区消防衛生組合 名護市 沖縄県防災危機管理課 西日本高速道路	火災、救急 その他の災害	平成31年2月18日
緊急消防援助隊要綱	全国消防機関	大規模災害	平成7年10月30日
救急救命士の業務運用 に関する協定	社会医療法人仁愛会 浦添総合病院	救急業務	平成12年2月25日
沖縄県消防 相互応援協定	名護市、うるま市、沖縄市、浦添市、那覇市、 豊見城市、糸満市、久米島町、宮古島市、 石垣市 国頭地区行政事務組合 本部町今帰仁村消防組合 金武地区消防衛生組合 比謝川行政事務組合、中城北中城消防組合 東部消防組合、島尻消防清掃組合	火災、救急 その他の災害	平成18年8月1日
救急救命士に対する 医師の包括的具体的 指示及び病院 実習に関する協定	沖縄県立中部病院	救急業務	平成16年4月1日
救急救命士に対する 医師の包括的具体的 指示及び病院 実習に関する協定	社会医療法人仁愛会 浦添総合病院	救急業務	平成16年8月2日
救急救命士に対する 医師の包括的具体的 指示及び病院 実習に関する協定	沖縄県立 中部病院 特定医療法人沖縄徳洲会 中部徳洲会病院 社会医療法人敬愛会 中頭病院 社会医療法人かりゆし会 ハートライフ病院 医療法人緑水会 宜野湾記念病院	救急業務	平成19年4月1日
災害・事故等における 医師等の現場派遣に 関する協定書	社会医療法人仁愛会 浦添総合病院	救急業務	平成24年3月21日
災害・事故等における 医師等の現場派遣に 関する協定書	社会医療法人かりゆし会 ハートライフ病院	救急業務	平成29年4月1日
沖縄県中部保健所管内 におけるエボラ出血熱の 患者の移送協力に 関する協定書	沖縄県中部保健所	救急業務	令和元年11月1日
災害時における消防用水 の確保に関する協定書	うるま市、沖縄市、比謝川行政事務組合 中城北中城消防組合、浦添市 沖縄県生コンクリート協同組合	火災 その他の災害	令和2年12月22日
災害時における消防応急 対策業務に関する協定書	株式会社丸内	火災 その他の災害	令和5年6月7日



消 防 団 関 係

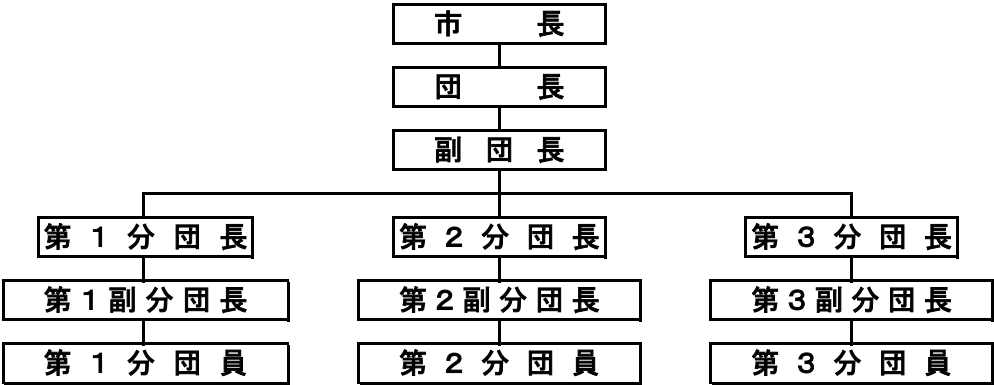
宜野湾市消防団は”地域に根差した活動”をモットーに市内に在住・在勤している35名が活動しています。月例の訓練や防災イベントへの出席を通し、地域住民の防災意識向上に携わっています。

令和4年度から、消防団員の年額報酬の増額及び出動報酬を新設し、処遇の改善を図っております。

～令和6年度の主な活動実績～			
4月	津波警報発令に伴う非常招集	4月	「琉球海炎祭2024」警戒活動
9月	沖縄県消防協会中部地区支会消防団操法大会	11月	宜野湾市地震・津波避難訓練

宜 野 湾 市 消 防 団 組 織 図

令和7年4月1日現在



消 防 団 員 定 数 及 び 実 数

令和7年4月1日現在

階級 区分	団長		副団長		分団長		副分団長		団員		計
	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	
定 数	40										40
実 数	1	-	1	-	3	-	1	2	23	4	35
18～25歳									4		4
26～30歳									1		1
31～35歳									3	1	4
36～40歳									2		2
41～45歳					1			1	5	1	8
46～50歳									2	1	3
51～55歳			1		2				5	1	9
56歳～	1						1	1	1		4
平均年齢	69.0	-	55.0	-	48.7	-	56.0	52.0	40.0	43.8	43.5

消 防 団 員 の 報 酬 及 び 費 用 弁 償 額

令和7年4月1日現在

	団長	副団長	分団長	副分団長	団員
年額報酬	82,500円	69,000円	50,500円	45,500円	36,500円
費用弁償	1,000円(1日につき)				
出動報酬	災害8,000円、警戒6,000円、訓練5,000円、その他5,000円 ※1日につき(4時間以上の場合)				
	災害4,000円、警戒3,000円、訓練3,000円、その他3,000円 ※1日につき(4時間未満の場合)				

消 防 団 員 活 動 状 況

令和6年度

月 別 \ 区 分	火 災		風水害等		警 戒		訓練・研修		そ の 他		計	
	回	人員	回	人員	回	人員	回	人員	回	人員	回	人員
4 月					2	17	5	54	1	1	8	72
5 月							3	43	11	24	14	67
6 月							5	40	2	3	7	43
7 月					1	4	4	54	1	1	6	59
8 月							8	109			8	109
9 月					2	6	10	136	5	7	17	149
10 月							7	60	2	5	9	65
11 月					3	8	3	35	5	5	11	48
12 月					1	9	6	57	1	5	8	71
1 月							3	42	2	17	5	59
2 月					2	7	3	53	1	1	6	61
3 月					2	2	1	75	4	5	7	82
計	0	0	0	0	13	53	58	758	35	74	106	885

消 防 団 員 の 装 備

令和7年4月1日現在

装 備 別	防火衣一式	救助用半長靴	特定小電力無線機	救命衣	投光器	拡声器	AED
装 備 数	22	30	36	30	3	8	1

消 防 団 員 表 彰

令和7年4月1日現在

表 彰 別 \ 年 度 別		～令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	計
消 防 庁 長 官	消防団地域活動表彰(団体)	1						1
	表 彰 旗	1						1
	功 勞 章	1						1
沖 縄 県 知 事	永 年 勤 続 功 勞 章	1						1
日 本 消 防 協 会 長	功 績 章	1						1
	精 績 章	6		1			1	8
	勤 続 章	1						1
	竿 頭 綬 (団 体)	1						1
沖 縄 県 消 防 協 会 長	功 勞 章	2						2
	永 年 勤 続 章	17		1		2		20
	優 良 消 防 団 員 章	31						31
沖 縄 県 消 防 協 会 中 部 地 区 支 会 長	功 勞 表 彰							0
	永 年 勤 続 表 彰 (10 年)	23			1	2		26
	永 年 勤 続 表 彰 (20 年)	10						10
	永 年 勤 続 表 彰 (30 年)	2	1					3

消 防 予 算

宜野湾市救急救命士 人件費助成事業について

宜野湾市消防署に配置している救急救命士の人件費について、令和6年度特定防衛施設周辺整備調整交付金を活用しました。

事業名称 : 宜野湾市救急救命士人件費助成事業
事業実施期間 : 令和6年9月1日から令和7年3月31日
事業所要額 : 98,161,944円
交付金額 : 59,000,000円



令和6年度特定防衛施設
周辺整備調整交付金

令和6年度消防予算・決算及び令和7年度消防予算

(歳入)

(単位:円)

款	項	令和6年度当初予算	令和6年度決算見込	令和7年度当初予算
使用料及び手数料	2. 手 数 料	433,000	776,000	698,000
国庫支出金	2. 国 庫 補 助 金	174,838,000	173,405,000	222,431,000
県支出金	2. 県 補 助 金	3,305,000	15,055,500	21,123,000
諸 収 入	4. 雑 入	1,754,000	2,251,895	1,474,000
市 債	1. 市 債	247,800,000	153,500,000	259,100,000
歳 入 合 計		428,130,000	344,988,395	504,826,000

(歳出)

(単位:円)

目	節	令和6年度当初予算	令和6年度決算見込	令和7年度当初予算
常 備 消 防 費	報 酬	3,890,000	4,392,230	4,394,000
	給 料	341,988,000	353,405,209	362,303,000
	職 員 手 当 等	281,308,000	285,600,647	302,106,000
	共 済 費	129,207,000	132,861,481	142,771,000
	報 償 費	13,000	8,000	13,000
	旅 費	1,814,000	939,500	1,721,000
	需 用 費	29,187,000	28,739,521	30,270,000
	役 務 費	8,881,000	7,531,179	7,959,000
	委 託 料	7,413,000	6,090,612	6,861,000
	使用料及び賃借料	681,000	583,484	1,095,000
	工 事 請 負 費	2,850,000	2,644,000	2,518,000
	原 材 料 費	41,000	12,568	30,000
	備 品 購 入 費	5,466,000	5,262,097	7,263,000
	負担金、補助及び交付金	163,631,000	145,902,540	221,968,000
	補償、補填及び賠償金	0	0	0
	公 課 費	653,000	595,000	918,000
非 常 備 消 防 費	報 酬	4,813,000	4,092,470	4,813,000
	旅 費	1,038,000	873,000	1,038,000
	需 用 費	463,000	428,790	573,000
	役 務 費	0	0	0
	備 品 購 入 費	93,000	80,960	106,000
	負担金、補助及び交付金	2,351,000	2,349,317	2,356,000
消 防 施 設 費	職 員 手 当 等	424,000	147,639	486,000
	旅 費	558,000	136,320	86,000
	需 用 費	11,000	0	6,000
	役 務 費	428,000	92,676	337,000
	委 託 料	33,979,000	31,251,548	1,000,000
	使用料及び賃借料	0	0	33,228,000
	工 事 請 負 費	0	0	116,935,000
	備 品 購 入 費	254,329,000	88,384,255	88,819,000
	負担金、補助及び交付金	17,375,000	20,372,000	17,754,000
	公 課 費	279,000	123,000	66,000
歳 出 合 計		1,293,164,000	1,122,900,043	1,359,793,000

市予算と消防予算の推移

(単位:千円)

年度別	区分	市予算総額(当初)	消防予算(当初)	総予算に占める 消防予算(%)	備 考
平成28年度		40,205,000	712,819	1.8	
平成29年度		42,656,000	888,552	2.1	
平成30年度		45,354,000	856,337	1.9	
令和元年度		44,840,000	840,522	1.9	
令和2年度		46,090,000	1,112,122	2.4	
令和3年度		48,510,000	1,231,332	2.5	
令和4年度		49,870,000	888,005	1.8	
令和5年度		51,360,000	905,233	1.8	
令和6年度		54,380,000	1,293,164	2.4	
令和7年度		66,790,000	1,359,793	2.0	

市民1人当り・1世帯当りの消防費の推移

年度別	区分	1人当り(円)	1世帯当り(円)	算 定 の 基 礎	
				人 口	世 帯 数
平成28年度		7,334	17,003	97,194	41,924
平成29年度		9,098	20,828	97,662	42,662
平成30年度		8,752	19,802	97,845	43,245
令和元年度		8,533	19,051	98,502	44,119
令和2年度		11,172	24,641	99,549	45,133
令和3年度		12,308	26,790	100,042	45,962
令和4年度		8,889	19,163	99,902	46,340
令和5年度		9,074	19,343	99,757	46,798
令和6年度		12,930	27,226	100,009	47,497
令和7年度		13,594	28,170	100,032	48,271

令和7年度予算概要

<令和6年度予算との比較>

- ・ 令和7年度消防当初予算は13億5,979万円で、令和6年度と比べ、6,662万9千円増加し、前年度比約5.2%の増。
- ・ 市総予算に占める消防予算の割合は2.0%。前年度比0.4%の減。
- ・ 「市民1人当たりの消防費」は13,594円。前年度比約5.1%の増。
「1世帯当たりの消防費」は28,170円。前年度比約3.5%の増。

<令和7年度の主な事業>

- ・ 消防本部庁舎増築・改修事業(改修工事).....151,941千円
- ・ 消防指令センター関連事業(整備機器・設計監理).....187,792千円
- ・ 救急業務高度化資機材緊急整備事業.....83,666千円
(高規格救急自動車2台及び高度救命処置用資機材購入)

消防施設機械

《 過去1年間の施設機械状況 》

- ◇ 令和6年度に国及び県の補助金を活用し、災害消防用広報車及び水槽付消防ポンプ自動車を整備しました。
- ◇ 西普天間地区をはじめとする市内各所にて消火栓が27栓増加し、市内の総数は629栓となりました。

消防本部及び署所の名称・位置

名 称	位 置
宜 野 湾 市 消 防 本 部	宜 野 湾 市 字 野 嵩 6 7 7 番 地
宜 野 湾 市 消 防 署	〃
宜野湾市消防署我如古出張所	宜 野 湾 市 我 如 古 三 丁 目 2 番 1 号
宜野湾市消防署真志喜出張所	宜 野 湾 市 真 志 喜 三 丁 目 2 5 番 3 号

消 防 庁 舎 概 要

面積等 区 別	敷地面積	構 造	建築面積	建 築	竣工年月日
				延べ面積	
消 防 本 部 消 防 署	3,323.64㎡	RC造2階建	1,444.34㎡	1,916.65㎡	昭和60年 11月26日
我如古出張所	1,647.46㎡	RC造3階建	569.28㎡	878.90㎡	令和4年 2月14日
真志喜出張所	2,358.92㎡	RC造2階建	554.35㎡	676.99㎡	平成7年 3月23日
訓練塔(主塔)		RC造5階建	38.62㎡	143.10㎡	平成8年 3月21日
訓練塔(副塔)		RC造3階建	36.00㎡	108.00㎡	
計	7,330.02㎡		2,642.59㎡	3,723.64㎡	

消 防 通 信 施 設

1. 消防業務用有線電話回線

令和7年4月1日現在

所属	用 途 別	電 話 番 号	備 考
消 防 本 部	総 務 課	098-892-2299	災害時優先電話
	予 防 課	098-892-1850	
	警 防 課	098-896-2548	
	消 防 署	098-892-1199	災害時優先電話
	消 防 署 F A X 兼 用	098-892-3057	
	F A X 専 用	098-892-5300	
我 出 如 張 古 所	代 表	098-897-1210	
	F A X 専 用	098-897-5899	
真 出 志 張 喜 所	代 表	098-890-4399	
	F A X 専 用	098-890-3953	

2. 消防救急デジタル無線(基地局2局、移動局46局)

令和7年4月1日現在

呼出名称	無線局	電波の型式	空中線電力	設置(配置)場所
おきしょうぎのわん	基地局	5K80G1E 5K80G1D	20W	消防本部(署)
おきしょううえはら	〃	〃	10W	西原町上原高台公園
しょうぼうぎのわん	陸上移動局 (卓上)	〃	5W	消防本部(署)
しょうぼうがねこ	〃	〃	〃	我如古出張所
しょうぼうましき	〃	〃	〃	真志喜出張所
ぎのわんかはん1	陸上移動局 (可搬)	〃	〃	消防本部(署)
ぎのわんしき1	陸上移動局 (車載)	〃	〃	〃
ぎのわんきゅうきゅう1	〃	〃	〃	〃
ぎのわんきゅうきゅう2	〃	〃	〃	〃
ぎのわんぼんぷ1	〃	〃	〃	〃
ぎのわんぼんぷ2	〃	〃	〃	〃
ぎのわんたんく1	〃	〃	〃	〃
ぎのわんきゅうじょ1	〃	〃	〃	〃

呼出名称	無線局	電波の型式	空中線電力	設置(配置)場所
ぎのわんはしご1	陸上移動局 (車載)	5K80G1E 5K80G1D	5W	消防本部(署)
ぎのわんしれい1	〃	〃	〃	〃
ぎのわんよぼう1	〃	〃	〃	〃
ぎのわんしえん1	〃	〃	〃	〃
ぎのわんゆそう1	〃	〃	〃	〃
がねこしき1	〃	〃	〃	我如古出張所
がねこきゅうきゅう1	〃	〃	〃	〃
がねこぼんぷ1	〃	〃	〃	〃
がねこぼんぷ2	〃	〃	〃	〃
ましきしき1	〃	〃	〃	真志喜出張所
ましききゅうきゅう1	〃	〃	〃	〃
ましきぼんぷ1	〃	〃	〃	〃
ましきぼんぷ2	〃	〃	〃	〃
ましきすいなん1	〃	〃	〃	〃
ましきせきさい1	〃	〃	〃	〃
ぎのわん101～111	陸上移動局 (携帯)	〃	2W	消防本部(署)
がねこ101～104	〃	〃	〃	〃
ましき101～105	〃	〃	〃	〃

3. 400MHzアナログ無線(署活波34局)

令和7年4月1日現在

呼出名称	無線局	電波の型式	空中線電力	設置(配置)場所
ぎのわん201～218	陸上移動局 (携帯)	F3E F2D	1W	消防本部(署)
がねこ201～207	〃	〃	〃	我如古出張所
ましき201～209	〃	〃	〃	真志喜出張所

4. 150MHzアナログ無線(防災相互波3局)

令和7年4月1日現在

呼出名称	無線局	電波の型式	空中線電力	設置(配置)場所
ぎのわんぼうさい1～3	陸上移動局 (携帯)	16KOF3E	5W	真志喜出張所

消 防 水 利 の 現 況

令和7年4月1日現在

種 別 行政 区 別	消 火 栓	防 火 水 そ う	学 校 プ ー ル	合 計
野 嵩 1 区	37	1		38
野 嵩 2 区	7			7
野 嵩 3 区	6			6
普 天 間 1 区	8	1	2	11
普 天 間 2 区	8			8
普 天 間 3 区	28			28
新 城 区	12			12
喜 友 名 区	17	2 (2)		19 (2)
伊 佐 区	25	3 (1)		28 (1)
大 山 区	65	7 (5)	1	73 (5)
真 志 喜 区	36	5 (3)	1	42 (3)
宇 地 泊 区	27	2 (2)		29 (2)
大 謝 名 区	32	3 (1)	1	36 (1)
嘉 数 区	35	2 (1)		37 (1)
真 栄 原 区	50	2 (2)		52 (2)
我 如 古 区	55	5 (4)		60 (4)
長 田 区	49		1	50
宜 野 湾 区	36	2 (1)	1	39 (1)
愛 知 区	40	1	1	42
中 原 区	44		1	45
西 普 天 間 区	12			12
計	629	36 (22)	9	674 (22)

()は私設

算 定 数	整 備 数	不 足 数	比 率
515	474	41	92.0%

※「算定数」「整備数」は、消防施設整備計画実態調査に用いる算定方式(メッシュ方式)にて算定した数。
(西普天間地区は含んでおりません。)

現 有 消 防 車 両

令和7年4月1日現在

種 別	現 場 指 揮 車	災 害 用 広 報 車	指 揮 広 報 車	指 揮 支 援 車	連 絡 車	資 機 材 搬 送 車	防 災 活 動 車	自 高 規 動 格 救 車 急	ボ 水 槽 プ 付 自 動 消 車 防	消 防 ポ ンプ 自 動 車	救 助 工 作 車	自 は し ご 付 動 消 車 防	水 小 型 動 力 ポ ンプ 付 車	緊 急 人 員 輸 送 車	予 防 広 報 車	救 急 予 備 車	ポ ンプ 予 備 車	計
台 数	1	1	1	1	1	4	1	5	4	3	1	1	1	1	1	1	1	29

消 防 用 車 両 配 置 一 覧 表

令和7年4月1日 現 在

名 称	車 名	登録年月日	経過年数	車 種	乗車定員	車両番号	排気量(ℓ)	ポンプ製作所・規格	積載水(ℓ)	総重量(kg)	補 助 別
消 防 本 部											
1号車	現 場 指 揮 車	平成28年2月1日	9年	ニッサン	8人	沖縄 801 す 1	2.48			2,410	平成27年度石油貯蔵施設
2号車	災 害 用 広 報 車	令和6年1月23日	1年	ニッサン	6人	沖縄 800 の 2	1.99			3,195	令和5年度石油貯蔵施設
4号車	連 絡 車	平成22年6月30日	14年	マ ツ ダ	4人	沖縄 580 ね 2226	0.65			1,030	単 独
19号車	指 揮 支 援 車	平成26年1月31日	11年	マ ツ ダ	5人	沖縄 830 セ 19	2.18			1,935	平成25年度石油貯蔵施設
消 防 署											
5号車	資 機 材 搬 送 車	令和6年12月19日	0年	ニッサン	6人	沖縄 800 む 5	1.99			3,205	令和6年度石油貯蔵施設
6号車	高 規 格 救 急 自 動 車	令和2年2月13日	5年	ト ヨ タ	8人	沖縄 830 て 6	2.69			3,120	令和元年度防衛調整交付金
10号車	防 災 活 動 車	平成20年2月22日	17年	マ ツ ダ	6人	沖縄 800 す 1330	1.78			2,585	平成19年度日本消防協会(寄贈)
12号車	水槽付消防ポンプ自動車	平成30年3月22日	7年	日 野	6人	沖縄 830 ち 12	5.12	日本機械A-2	2,000	10,660	平成29年度防衛調整交付金
13号車	水槽付消防ポンプ自動車	令和7年3月25日	0年	日 野	6人	沖縄 830 ね 13	5.12	森田ポンプA-2	2,000	10,270	令和6年度防衛調整交付金
15号車	救 助 工 作 車	平成17年3月18日	20年	い す ゞ	6人	沖縄 800 は 668	9.83			14,280	平成16年度防衛庁
16号車	はしご付消防自動車(40m級)	令和3年11月19日	3年	日 野	6人	沖縄 830 セ 16	8.86			21,190	令和3年度防衛調整交付金
17号車	小型動力ポンプ付水槽車	平成27年3月20日	10年	日 野	3人	沖縄 830 そ 17	6.40	シバウラB-2	5,000	12,065	平成26年度防衛調整交付金
18号車	緊 急 人 員 輸 送 車	平成21年11月30日	15年	三 菱	25人	沖縄 830 セ 18	4.89			5,305	平成21年度石油貯蔵施設
23号車	高 規 格 救 急 自 動 車	平成28年1月28日	9年	ト ヨ タ	8人	沖縄 830 た 23	2.69			3,080	平成27年度防衛調整交付金
24号車	消 防 ポ ン プ 自 動 車	令和2年2月20日	5年	い す ゞ	6人	沖縄 800 セ 1032	2.99	森田ポンプA-2	0	4,840	令和元年度消防庁消防団無償貸付車両
予備車	高 規 格 救 急 自 動 車	平成22年3月12日	15年	ト ヨ タ	7人	沖縄 830 そ 6	2.69			3,135	平成21年度防衛省
／	資 機 材 搬 送 車	平成19年12月26日	17年	ニッサン	5人	沖縄 800 す 5	1.99			2,955	平成19年度石油貯蔵施設
我 如 古 出 張 所											
3号車	指 揮 広 報 車	平成21年3月13日	16年	ニッサン	8人	沖縄 800 た 3	3.49			2,310	平成20年度石油貯蔵施設
7号車	高 規 格 救 急 自 動 車	平成31年3月14日	6年	ト ヨ タ	7人	沖縄 800 な 7	2.69			3,185	平成30年度防衛調整交付金
11号車	水槽付消防ポンプ自動車	平成20年1月24日	17年	三 菱	6人	沖縄 830 す 11	7.54	森田ポンプA-1	2,000	10,180	平成19年度総務省消防庁
22号車	消防ポンプ自動車(CD-1)	平成25年5月27日	11年	日 野	5人	沖縄 830 セ 22	4.00	森田ポンプA-2	600	6,855	平成24年度一括交付金
真 志 喜 出 張 所											
8号車	高 規 格 救 急 自 動 車	令和6年1月22日	1年	ト ヨ タ	7人	沖縄 801 に 8	2.69			3,205	令和5年度防衛調整交付金
9号車	資 機 材 搬 送 車	令和4年3月25日	3年	ト ヨ タ	6人	沖縄 830 な 9	4.00			5,510	令和3年度防衛調整交付金
14号車	水槽付消防ポンプ自動車	令和5年3月20日	2年	日 野	6人	沖縄 830 セ 14	5.12	森田ポンプA-2	4,000	12,130	令和4年度防衛調整交付金
20号車	資 機 材 搬 送 車	平成22年12月27日	14年	三 菱	3人	沖縄 830 さ 20	2.97			3,805	平成22年度石油貯蔵施設
21号車	消防ポンプ自動車(CD-1)	平成25年5月27日	11年	日 野	5人	沖縄 830 す 21	4.00	森田ポンプA-2	600	6,825	平成24年度一括交付金
25号車	高 規 格 救 急 自 動 車	平成26年3月6日	11年	ト ヨ タ	7人	沖縄 800 の 8	2.69			3,195	平成25年度防衛省
予備車	水槽付消防ポンプ自動車	平成16年2月25日	21年	い す ゞ	6人	沖縄 830 る 119	8.22	森田ポンプA-2	4,000	12,860	平成15年度総務省消防庁
／	予 防 広 報 車	平成19年2月23日	18年	ト ヨ タ	8人	沖縄 800 す 444	2.36			2,190	平成18年度石油貯蔵施設
救助艇	水 上 バ イ ク	令和2年11月17日	4年	シ ー ド ウ	3人	第296 - 27534号					令和2年度石油貯蔵施設
〃	ゴ ム ボ ー ト	令和5年2月27日	2年	ア キ レ ス	8人	第296 - 28015号					令和4年度石油貯蔵施設

予 防

“危険物
無事故へ挑む
ゴング鳴る”

(令和7年度危険物安全週間推進標語)

火災予防概要

◇危険物製造所等について

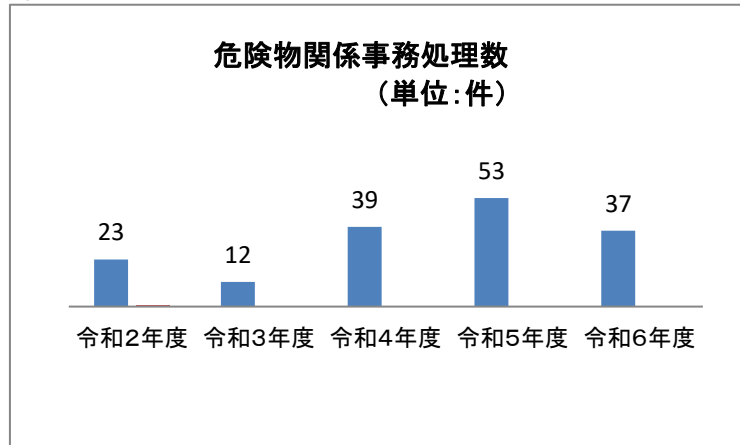
本市における危険物事業所数は、同規模本部と比較して少ない状況にあります。

都市計画法における用途地域指定において、居住系地域が多く、商工業系地域が少ないことに起因するほか、市の面積の3分の1を米軍普天間飛行場が占めていることも関係しているものと考えられます。

令和6年度の事務処理件数は、前年に比べ16件減少し37件となっております。

新型コロナウイルス感染症が第5類に移行して1年が経過し、市内の大学病院及び関連施設の完成検査が終了したことで減少したものと考えられます。

※危険物施設関係の数値は、米軍基地内については対象外としています。(手数料収入状況除く。)

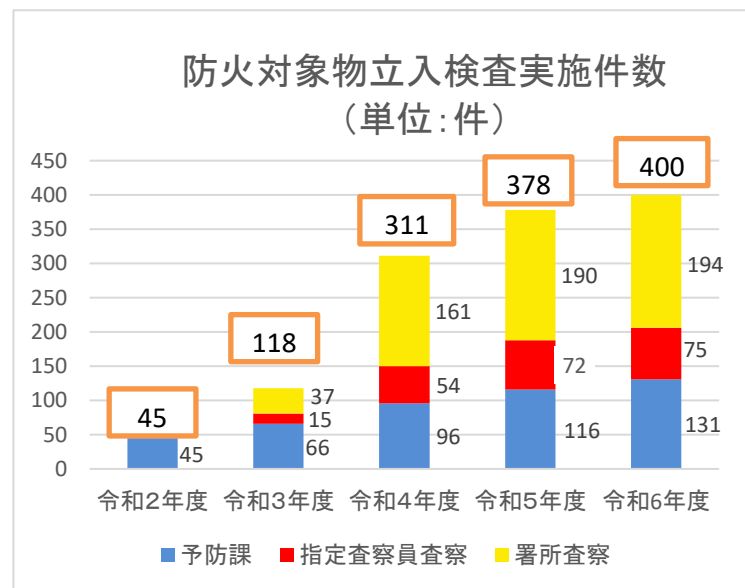


◇防火対象物の実態について

本市における防火対象物数は3,029棟で、今後も増え続けることが予想されます。

防火対象物立入検査の実施件数は400件でした。

各種届出状況は、「消防用設備等点検結果報告書」が前年度より74件増加しております。これは、立入検査の増加、是正通知文書の送付を実施したことが要因と考えられます。



数量別危険物施設の現況

令和7年4月1日現在

区分 数量別	合計	製造所	貯蔵所								取扱所				
			屋内貯蔵所	屋外タンク貯蔵所	屋内タンク貯蔵所	地下タンク貯蔵所	簡易タンク貯蔵所	移動タンク貯蔵所	屋外貯蔵所	小計	給油取扱所	販売取扱所	移送取扱所	一般取扱所	小計
5倍以下	18		1			7		6		14				4	4
5倍を超え 10倍以下	9		2			2				4	2			3	5
10倍を超え 50倍以下	11					4				4	1	3		3	7
50倍を超え 100倍以下	3					1		2		3					0
100倍を超え 200倍以下	6									0	6				6
200倍を 超えるもの	10									0	10				10
合計	57	0	3	0	0	14	0	8	0	25	19	3	0	10	32

危険物施設事務処理状況

令和7年4月1日現在

製造所等 区分		合計	製造所	貯蔵所								取扱所				
				屋内貯蔵所	屋外タンク貯蔵所	屋内タンク貯蔵所	地下タンク貯蔵所	簡易タンク貯蔵所	移動タンク貯蔵所	屋外貯蔵所	小計	給油取扱所	販売取扱所	移送取扱所	一般取扱所	小計
許可	設置	2		1			1				2					0
	変更	6									0	6				6
完成検査	設置	3		1			1				2				1	1
	変更	7									0	7				7
仮使用承認		4									0	4				4
仮貯蔵取扱承認		0									0					0
完成検査前検査	水張・水圧	0									0					0
	基礎地盤	0									0					0
施設廃止		4					2		1		3				1	1
合計		26	0	2	0	0	4	0	1	0	7	17	0	0	2	19

危険物関係事務手数料収入状況（令和6年度）

（単位：円）

種 別 月 別	手 数 料							計
	製造所等許可審査		製造所等完成検査		仮使用・取扱	完成検査前検査		
	設置許可	変更許可	設 置	変 更	承 認	水 張	水 圧	
4 月								0
5 月		26,000	29,500	42,500	5,400			103,400
6 月	20,000	26,000	10,000					56,000
7 月				13,000				13,000
8 月		26,000						26,000
9 月		26,000	32,500	13,000	5,400			76,900
10月			10,000					10,000
11月				17,000				17,000
12月	20,000	26,000			5,400			51,400
1 月				13,000				13,000
2 月		26,000			5,400			31,400
3 月		26,000			5,400			31,400
計	40,000	182,000	82,000	98,500	27,000	0	0	429,500

危険物施設数及び事業所数の推移（過去5年）

令和7年4月1日現在

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
施設数	75	75	56	58	57
事業所数	42	42	41	40	38

※令和4年度から、米軍基地施設内の施設については対象外としています。

少量危険物取扱施設数

令和7年4月1日現在

	少 量 危 険 物 取 扱 施 設
施 設 数	117

各種届出事務処理状況

令和6年度

関 連 条 文	届 出 種 別	件 数
法第8条第2項	防火管理者選任届	139
"	防火管理者解任届	92
法第17条の3の2	消防用設備等設置届	211
法第17条の3の3	消防用設備等点検結果報告書	1,633
法第17条の14	消防用設備等着工届	92
規則第3条	消防計画	146
条例第43条第1項	防火対象物使用開始届	89
条例第44条第1号～第5号	炉・厨房設備・ボイラー等設置届	3
" 第9号	変電設備設置届	12
" 第10号	急速充電設備設置届	0
" 第12号	発電設備設置届	2
" 第13号	蓄電池設備設置届	4
条例施行規則第2条1項	裸火等使用承認申請書	23
条例第45条第2号	煙火打ち上げ、仕掛け届	9
" 第3号	催物開催届	88
条例第46条	少量危険物貯蔵、取扱い届	9
法第13条第2項	危険物保安監督者選任・解任届	10

防火管理資格取得講習会実施状況

年 別	実 施 状 況	講習修了者
平 成 2 3 年	(財)日本防火協会へ委託	
平 成 2 4 年	(財)日本防火協会へ委託	
平 成 2 5 年	乙種:宜野湾市消防本部主催3回開催 甲種:(財)日本防火協会へ委託	68(乙種)
平 成 2 6 年	乙種:宜野湾市消防本部主催2回開催 甲種:(財)日本防火協会へ委託	54(乙種)
平 成 2 7 年	宜野湾市消防本部主催甲種1回、乙種2回 甲種:(一社)日本防火協会へ委託	23(甲種) 37(乙種)
平 成 2 8 年	宜野湾市消防本部主催乙種3回 甲種:(一社)日本防火協会へ委託	38(乙種)
平 成 2 9 年	宜野湾市消防本部主催乙種2回	18(乙種)
平 成 3 0 年	宜野湾市消防本部主催乙種2回	39(乙種)
令 和 元 年	宜野湾市消防本部主催乙種2回	32(乙種)
令 和 2 年	宜野湾市消防本部主催乙種1回	7(乙種)
令 和 3 年	※新型コロナの影響により中止	
令 和 4 年	宜野湾市消防本部主催乙種2回	21(乙種)
令 和 5 年	宜野湾市消防本部主催甲種2回、乙種1回	46(甲種) 13(乙種)
令 和 6 年	宜野湾市消防本部主催甲種2回、乙種1回	47(甲種) 6(乙種)

用途別防火管理者選任（解任）届出状況

令和6年度

用 途 別 （項）			選 任	解 任
1	イ	劇場、映画館、演芸場、観覧場		
	ロ	公会堂、集会場	3	1
2	イ	キャバレー、カフェー、クラブ等		
	ロ	遊技場、ダンスホール	1	1
	ハ	ファッションマッサージ・テレクラ等（性風俗営業店）		
	ニ	カラオケボックス等		1
3	イ	待合、料理店等		
	ロ	飲食店	8	7
4		百貨店、マーケット、店舗	15	13
5	イ	旅館、ホテル、宿泊所	2	2
	ロ	寄宿舍、下宿、共同住宅	14	6
6	イ	病院、診療所、助産所	3	1
	ロ	老人短期入所施設・特別養護老人ホーム「入所施設」	4	4
	ハ	デイサービス・老人福祉センター・保育園「入所施設以外」	4	1
	ニ	幼稚園、特別支援学校		
7		小・中・高・大学等	9	9
8		図書館、博物館、美術館	1	1
9	イ	蒸気浴場、熱気浴場等		
	ロ	上記以外の公衆浴場		
10		車両停車場、航空機発着場		
11		神社、寺院、教会等		
12	イ	工場、作業場		
	ロ	映画スタジオ、テレビスタジオ		
13	イ	自動車車庫、駐車場		
	ロ	飛行機、回転翼航空機の格納庫		
14		倉庫		
15		前各号に該当しない事業所	19	15
16	イ	特定防火対象物のある複合用途	52	26
	ロ	上記以外の複合用途	4	4
16の2		地下街		
16の3		準地下街		
17		重要文化財、史跡		
18		延長50m以上のアーケード		
19		市長村長の指定する山林		
20		自治省令で定める舟車		
合 計			139	92

※太文字は特定防火対象物

防火管理者を必要とする防火対象物数

令和7年3月31日現在

用 途 別 (項)			対象物件数		
			甲種	乙種	合計
1	イ	劇場、映画館、演芸場、観覧場	2		2
	ロ	公会堂、集会場	17	6	23
2	イ	キャバレー、カフェー、クラブ等			0
	ロ	遊 戯 場、ダンスホール	4		4
	ハ	ファッションマッサージ・テレクラ等（性風俗営業店）			0
	ニ	カラオケボックス等	1		1
3	イ	待 合、料 理 店 等			0
	ロ	飲 食 店	22	23	45
4		百 貨 店、マーケット、店 舗	42	15	57
5	イ	旅 館、ホテル、宿 泊 所	15		15
	ロ	寄宿舎、下宿、共同住宅	169		169
6	イ	病院、診療所、助産所	16	1	17
	ロ	老人短期入所施設・特別養護老人ホーム「入所施設」	23		23
	ハ	デイサービス・老人福祉センター・保育園「入所施設以外」	47	9	56
	ニ	幼稚園、特別支援学校	2		2
7		小・中・高・大学等	21		21
8		図書館、博物館、美術館	3		3
9	イ	蒸気浴場、熱気浴場等			0
	ロ	上記以外の公衆浴場			0
10		車両停車場、航空機発着場			0
11		神 社、寺 院、教 会 等	6		6
12	イ	工 場、作 業 場	5		5
	ロ	映画スタジオ、テレビスタジオ			0
13	イ	自動車車庫、駐車場			0
	ロ	飛行機、回転翼航空機の格納庫			0
14		倉 庫	4		4
15		前各号に該当しない事業所	41	7	48
16	イ	特定防火対象物のある複合用途	249	16	265
	ロ	上記以外の複合用途	54	9	63
16の2		地 下 街			0
16の3		準 地 下 街			0
17		重 要 文 化 財、史 跡			0
18		延長50m以上のアーケード			0
19		市長村長の指定する山林			0
20		自治省で定める舟車			0
合 計			743	86	829

※太文字は特定防火対象物

防火対象物別立入検査状況

令和6年度

用途別(項)		立入検査数													総対象 計物
		合計	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
															3,029
1	イ 劇場、映画館、演芸場、観覧場	1										1			3
	ロ 公会堂、集会場	3		1						1		1			28
2	イ キャバレー、カフェ、クラブ等	0													0
	ロ 遊戯場、ダンスホール	0													6
	ハ ファッションマッサージ・テレクラ等	0													0
	ニ カラオケボックス等	0													1
3	イ 待合、料理店等	0													0
	ロ 飲食店	5			1			1	1		2				53
4	百貨店、マーケット、店舗	11				1		3	2			3	2		95
5	イ 旅館、ホテル、宿泊所	10	1	2	1			1	1	1	1		1	1	38
	ロ 寄宿舍、下宿、共同住宅	185			12	25	29	24	23	27	27	10	6	2	1,608
6	イ 病院、診療所、助産所	5				2	3								33
	ロ 老人短期入所施設、特別養護老人ホーム(入所施設)	15			2			2	2	3	2	1	2	1	26
	ハ デイサービス、老人福祉センター、保育園(入所施設以外)	17		1	3		1	2	2	1	2	2	2	1	113
	ニ 幼稚園、盲・ろう学校、養護施設	0													10
7	小・中・高・大学等	10			2		1	1		6					71
8	図書館、博物館、美術館	0													3
9	イ 蒸気浴場、熱気浴場等	0													1
	ロ 上記以外の公衆浴場	0													0
10	車両停車場、航空機発着場	0													0
11	神社、寺院、教会等	0													11
12	イ 工場、作業場	4		1		1			1	1					32
	ロ 映画スタジオ、テレビスタジオ	0													0
13	イ 自動車車庫、駐車場	0													19
	ロ 飛行機、回転翼航空機の格納庫	0													0
14	倉庫	3								2			1		40
15	前各号に該当しない事業所	21	1	1			2	2			1	10	3	1	177
16	イ 特定防火対象物のある複合用途	78	1	3	5	10	12	6	5	10	4	12	7	3	412
	ロ 上記以外の複合用途	32			1	5	4	2	5	5	1	4	1	4	249
16の2	地下街	0													0
16の3	準地下街	0													0
17	重要文化財、史跡	0													0
18	延長50m以上のアーケード	0													0
19	市長村長の指定する山林	0													0
20	自治省で定める舟車	0													0
合 計		400	3	9	27	44	52	44	42	57	40	44	25	13	3,029

※太文字は特定防火対象物

建築同意事務処理状況

令和6年度

区 分		月 別	合 計	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月
建 築 確 認	受 付		101	12	11	9	8	8	8	10	6	11	7	4	7
	同 意		99	11	8	13	5	9	8	9	8	7	10	4	7
	条 件 付 同 意		0												
	不 同 意		0												
	返 却		0												
	消 防 通 知		204	27	14	44	12	10	8	21	20	9	11	10	18
計 画 通 知	受 付	国	4	1		1				1			1		
	了 承	国	4			1	1			1			1		
	受 付	県	2					1					1		
	了 承	県	2					1					1		
	受 付	市	6	1			1		1				2		1
	了 承	市	6				1	1	1				2		1
建築同意と計画通知の合計			111	11	8	14	7	11	9	10	8	7	14	4	8

過去5年間の建築同意受付件数

令和6年度

年 度	月 別	合 計	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	月平均
令和2年		102	5	5	8	6	11	8	13	6	8	14	6	12	9
令和3年		90	11	6	4	8	8	10	5	10	10	5	5	8	8
令和4年		124	11	16	8	16	14	11	5	9	4	16	9	5	10
令和5年		106	4	13	6	5	7	8	7	10	12	11	7	16	9
令和6年		113	12	13	10	9	9	9	11	6	11	11	4	8	9
合 計		535	43	53	36	44	49	46	41	41	45	57	31	49	

月別・用途別建築同意処理状況

令和6年度

用途別(項)			月 別	合 計	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
合 計				111	11	8	13	7	12	9	10	8	7	14	4	8
1	イ	劇場、映画館、演芸場、観覧場		1					1							
	ロ	公会堂、集会場														
2	イ	キャバレー、カフェー、クラブ等														
	ロ	遊戯場、ダンスホール														
	ハ	ファッションマッサージ・テレクラ等														
	ニ	カラオケボックス等														
3	イ	待合、料理店等														
	ロ	飲食店		1												1
4		百貨店、マーケット、店舗		4			1	1			1					1
5	イ	旅館、ホテル、宿泊所		1		1										
	ロ	寄宿舍、下宿、共同住宅		41	5	6	3	2	2	7	2	2	4	6	1	1
6	イ	病院、診療所、助産所		1								1				
	ロ	老人短期入所施設等「入所施設」														
	ハ	デイサービス・保育園等「入所施設以外」		1					1							
	ニ	幼稚園、特別支援学校														
7		小・中・高・大学等		4			1		1					2		
8		図書館、博物館、美術館														
9	イ	蒸気浴場、熱気浴場等														
	ロ	上記以外の公衆浴場														
10		車両停車場、航空機発着場														
11		神社、寺院、教会等														
12	イ	工 場、作 業 場														
	ロ	映画スタジオ、テレビスタジオ														
13	イ	自動車車庫、駐車場														
	ロ	飛行機、回転翼航空機の格納庫														
14		倉 庫		4				1	1		1			1		
15		前各号に該当しない事業所		19			2	2	3	2	2	1	1	4	1	1
16	イ	特定防火対象物のある複合用途		10		1	3				1	2	1		1	1
	ロ	上記以外の複合用途		6			1		2		1	1		1		
16の2		地 下 街														
16の3		準 地 下 街														
17		重要文化財、史跡														
18		延長50m以上のアーケード														
19		市長村長の指定する山林														
20		自治省で定める舟車														
長 屋				14	5		1	1	1		1	1			1	3
住 宅				4	1		1				1		1			

※太文字は特定防火対象物

用途別消防用設備等設置件数

令和7年3月31日現在

用途別			消 火 設 備						警 報 設 備				避 難 誘 導 設 備		消 火 活 動 上 必 要 な 設 備		
			屋 内 消 火 栓 設 備	ス プ リ ン ク ラ ー 設 備	ハ ロ ゲ ン 化 物 消 火 設 備	粉 末 消 火 設 備	泡 消 火 設 備	二 酸 化 炭 素 消 火 設 備	自 動 火 災 報 知 設 備	非 常 ベ ル	非 常 放 送 設 備	ガ ス 漏 れ 警 報 設 備	誘 導 灯	難 避 器 具	連 結 散 水 設 備	連 結 送 水 管	非 常 コ ン セ ン ト
合 計			176	60	3	112	14	3	1,605	361	264		887	930	11	208	35
1	イ	劇場、映画館、演芸場、観覧場	1	1					3	1	1		2			1	
	ロ	公会堂、集会場	4	1	1				22	10	5		25				
2	イ	キャバレー、カフェー、クラブ等															
	ロ	遊 戯 場、ダンスホール	1	1		2			6	6	3		6	1		2	
	ハ	ファッションマッサージ・テレクラ等															
	ニ	カラオケボックス等	1						2				2				
3	イ	待 合、料 理 店 等															
	ロ	飲 食 店	1						20	21	11		44	5		2	
4		百貨店、マーケット、店舗	2	4		3	2		52	7	30		87	3		1	
5	イ	旅館、ホテル、宿泊所		3		2		1	36	3	3		37	6		7	3
	ロ	寄宿舍、下宿、共同住宅	43	4		44	1		789	129	78		28	662		151	30
6	イ	病院、診療所、助産所	2	6		3		1	25	9	5		33	5		5	1
	ロ	老人短期入所施設、特別養護老人ホーム（入所施設）		26		2			27	3	4		27	8		1	
	ハ	デイサービス、老人福祉センター、保育園（入所施設以外）				1			75	4	8		100	12			
	ニ	幼稚園、盲・ろう学校、養護施設							10	1			8				
7		小・中・高・大学等	58	1		6	3		69	49	41		19	9	4	8	1
8		図書館、博物館、美術館	1		1	1			3	1	2		2				
9	イ	蒸気浴場、熱気浴場等								1	1		1				
	ロ	上記以外の公衆浴場															
10		車両停車場、航空機発着場															
11		神 社、寺 院、教 会 等	1						3	4	1		2				
12	イ	工 場、作 業 場	7						17				3	2			
	ロ	映画スタジオ、テレビスタジオ															
13	イ	自動車車庫、駐車場				15	2		10				3			2	
	ロ	飛行機、回転翼航空機の格納庫															
14		倉 庫	8			2			26				8				
15		前各号に該当しない事業所	21			6	1	1	64	24	13		67	16	6	1	
16	イ	特定防火対象物のある複合用途	17	13		16	5		265	51	33		310	131	1	20	
	ロ	上記以外の複合用途	8		1	9			81	37	25		73	70		7	
16の2		地 下 街															
16の3		準地下街															
17		重要文化財、史跡															
18		延長50m以上のアーケード															
19		市長村長の指定する山林															
20		自治省で定める舟車															

※太文字は特定防火対象物

中高層建築物用途別棟数状況

令和7年3月31日現在

用途別(項)			階 数	棟 数 合 計	4 階	5 階	6 階	7 階	8 階	9 階	10 階	11 階	12 階	13 階	14 階	15 階
合 計				1,272	740	204	133	65	47	21	26	10	8	6	10	2
1	イ	劇場、映画館、演芸場、観覧場		1		1										
	ロ	公会堂、集会場		0												
2	イ	キャバレー、カフェー、クラブ等		0												
	ロ	遊 戯 場、ダンスホール		2				2								
	ハ	ファッションマッサージ・テレクラ等		0												
	ニ	カラオケボックス等		0												
3	イ	待 合、料理店等		0												
	ロ	飲 食 店		4		2		2								
4		百貨店、マーケット、店舗		6	5	1										
5	イ	旅館、ホテル、宿泊所		16	2	5	2		2	2			1		2	
	ロ	寄宿舎、下宿、共同住宅		910	531	132	96	45	37	15	23	10	7	5	7	2
6	イ	病院、診療所、助産所		7	2	1	2	1							1	
	ロ	老人短期入所施設、特別養護老人ホーム(入所施設)		7	3	3		1								
	ハ	デイサービス、老人福祉センター、保育園(入所施設以外)		5	3	2										
	ニ	幼稚園、盲・ろう学校、養護施設		0												
7		小・中・高・大学等		28	13	8	4	1		1				1		
8		図書館、博物館、美術館		0												
9	イ	蒸気浴場、熱気浴場等		0												
	ロ	上記以外の公衆浴場		0												
10		車両停車場、航空機発着場		0												
11		神社、寺院、教会等		0												
12	イ	工 場、作 業 場		1		1										
	ロ	映画スタジオ、テレビスタジオ		0												
13	イ	自動車車庫、駐車場		6	3	3										
	ロ	飛行機、回転翼航空機の格納庫		0												
14		倉 庫		1	1											
15		前各号に該当しない事業所		24	19	3	2									
16	イ	特定防火対象物のある複合用途		139	81	26	13	9	5	3	2					
	ロ	上記以外の複合用途		115	77	16	14	4	3		1					
16の2		地 下 街		0												
16の3		準地下街		0												
17		重要文化財、史跡		0												
18		延長50m以上のアーケード		0												
19		市長村長の指定する山林		0												
20		自治省で定める舟車		0												
住 宅				0												

※太文字は特定防火対象物

予防広報活動状況

区分 月別	市報掲載	ポスター	チラシ	防火指導		ホームページ	（防災無線・街頭報）
	（回）	（枚）	（枚）	回	人	回	（回）
4月		4					
5月	2	130	1,800			2	5
6月		4				2	28
7月							
8月	1						
9月		25	1,800	3	90	2	38
10月	1						
11月		270	1,800	3	90	2	26
12月							
1月							
2月	1						
3月	1	245		3	90	2	26
計	6	678	5,400	9	270	10	123

全 国 統 一 防 火 標 語（年度別）

昭和45年度 防火三百六十五日	平成9年度 つけた火は ちゃんと消すまで あなたの火	令和6年度 守りたい 未来があるから 火の用心
昭和46年度 いま燃えようとしている火がある	平成10年度 気をつけて はじめはすべて 小さな火	令和7年度 急ぐ日も 足止め火を止め 準備よし
昭和47年度 慣れた火に 新たな注意	平成11年度 あぶないよ ひとりぼっちにした その火	
昭和48年度 隣にも声かけあってよい防火	平成12年度 火をつけた あなたの責任 最後まで	
昭和49年度 生活の一部にしよう火の点検	平成13年度 たしかめて。火を消してから 次のこと	
昭和50年度 幸せを明日につなぐ火の始末	平成14年度 消す心 置いてください 火のそばに	
昭和51年度 火災は人災 防ぐはあなた	平成15年度 その油断 火から炎へ 災いへ	
昭和52年度 使う火を消すまで離すな目と心	平成16年度 火は消した？ いつも心に きいてみて	
昭和53年度 それぞれの持場で生かせ火の用心	平成17年度 あなたです 火のあるくらしの見はり役	
昭和54年度 これくらいと思う油断を火が狙う	平成18年度 消さないであなたの心の注意の火	
昭和55年度 あなたです！火事を出すのも防ぐのも	平成19年度 火は見てる あなたが離れる その時を	
昭和56年度 毎日が防火デーです ぼくの家	平成20年度 火のしまつ 君がしなくて 誰がする	
昭和57年度 火の用心 心で用心 目で用心	平成21年度 消えるまで ゆっくり火の元 にらめっ子	
昭和58年度 点検は防火のはじまりしめくくり	平成22年度 「消したかな」あなたを守る合言葉	
昭和59年度 “あとで”より“いま”が大切 火の始末	平成23年度 消したはず 決めつけしないで もう一度	
昭和60年度 怖いのは「消したつもり」と「消したはず」	平成24年度 消すまでは 出ない行かない 離れない	
昭和61年度 防火の大役 あなたが主役	平成25年度 消すまでは 心の警報 ONのまま	
昭和62年度 消えたかな！ 気になるあの火もう一度	平成26年度 もういいかい 火を消すまでは まあだだよ	
昭和63年度 その火 その時 すぐ始末	平成27年度 無防備な 心に火災が かくれんぼ	
平成元年度 おとなりに あげる安心 火の始末	平成28年度 消しましょう その火その時 その場所で	
平成2年度 まず消そう 火への鈍感 無関心	平成29年度 火の用心 ことばを形に 習慣に	
平成3年度 毎日が 火の元警報 発令中	平成30年度 忘れてない？ サイフにスマホに火の確認	
平成4年度 点検を重ねて築く”火災ゼロ”	令和元年度 ひとつずつ いいね！で確認 火の用心	
平成5年度 防火の輪 つなげて広げて なくす火事	令和2年度 その火事を 防ぐあなたに 金メダル	
平成6年度 安心の 暮らしの中心 火の用心	令和3年度 おうち時間 家族で点検 火の始末	
平成7年度 災害に 備えて日頃の 火の用心	令和4年度 お出かけは マスク戸締り 火の用心	
平成8年度 便利さに 慣れて忘れる 火のこわさ	令和5年度 火を消して 不安を消して つなぐ未来	

火 災

“急ぐ日も
足止め火を止め
準備よし”

(2025年度全国統一防火標語)

火災統計概要

◇令和6年は火災件数 **19** 件、前年から**27** 件減少！

前年比27件減となり、大幅に減少しました。減少の要因は、放火が大幅に減少しました。消防本部、警察、自治会による警戒パトロールが功を奏し、減少したと考えられます。

建物火災においては、リチウムイオンバッテリーからの出火が増加しているため、リチウムイオンバッテリーの取扱いには十分注意しましょう。

◇住宅防火の決め手、**住宅用火災警報器**！！

住宅用火災警報器を設置しよう！10年たったら取替えを！

宜野湾市は平成23年に設置義務化となり、義務化後10年以上を経過しました。住宅用火災警報器の電池寿命、機器寿命は概ね10年と言われています。電池切れや機器の故障が発生しやすくなりますので、定期的な点検し、機器に不具合がある場合は速やかに取り換えましょう。取り外したままにしないようにご注意ください。

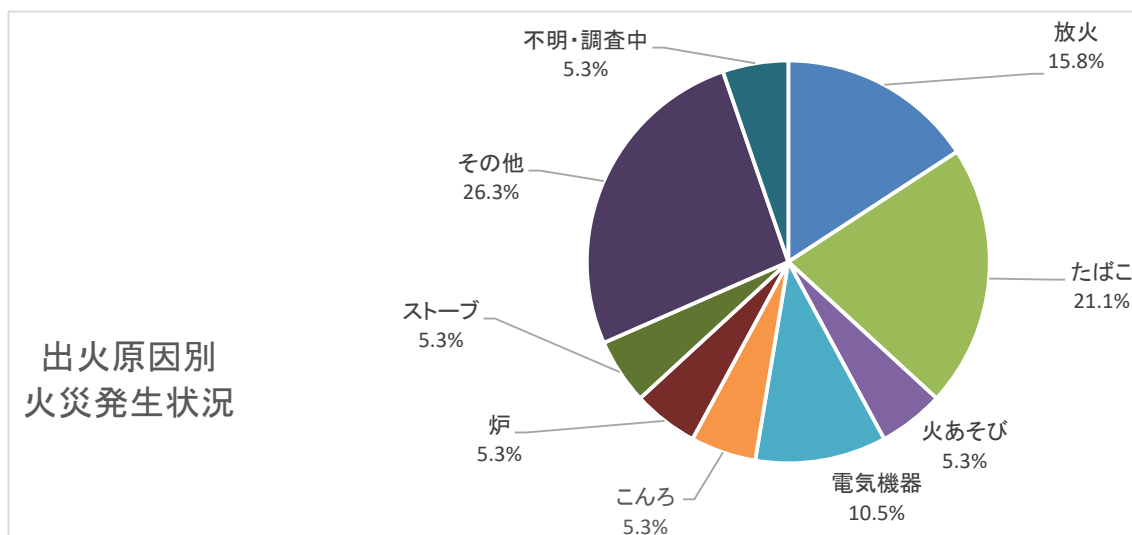
まだ設置されていないご家庭は、大切な財産を守るため、早めの設置をしましょう！

◇出火原因最多は**たばこ**！次いで放火、電気機器となっています。火災に注意！

令和6年に発生した火災における出火原因の傾向は、「たばこ」が最多となっています。次いで「放火」となり、そのほか「電気機器」が目立ちます。

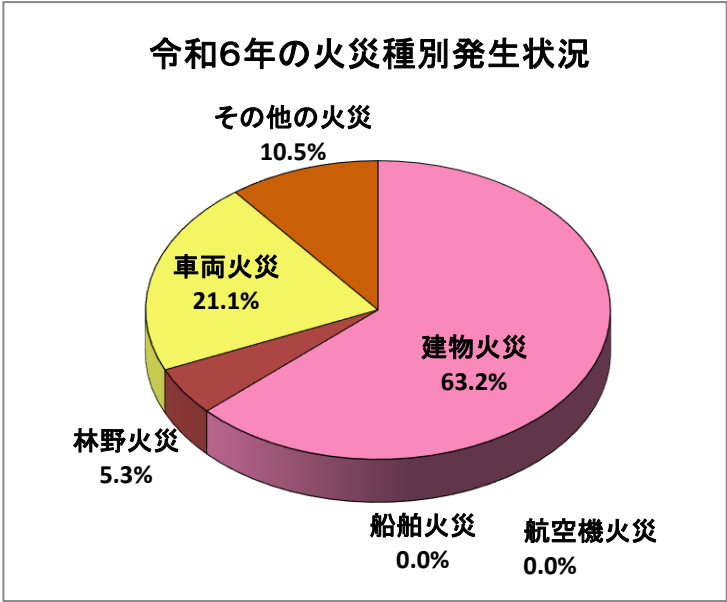
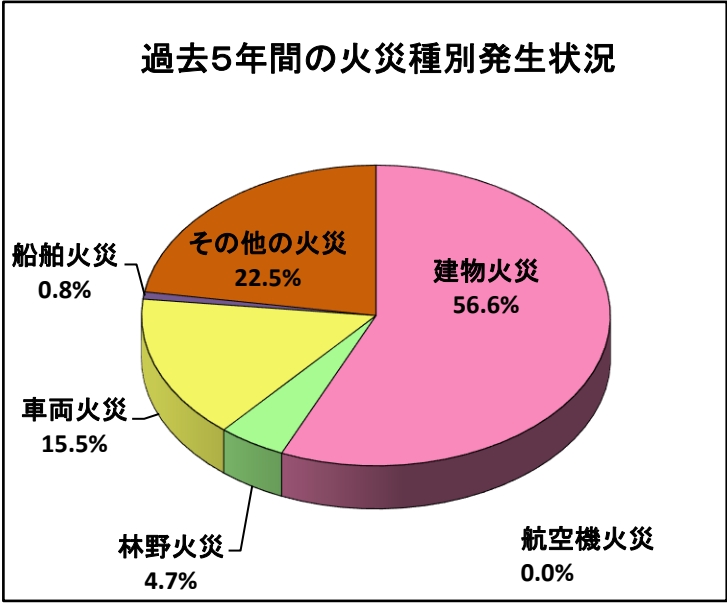
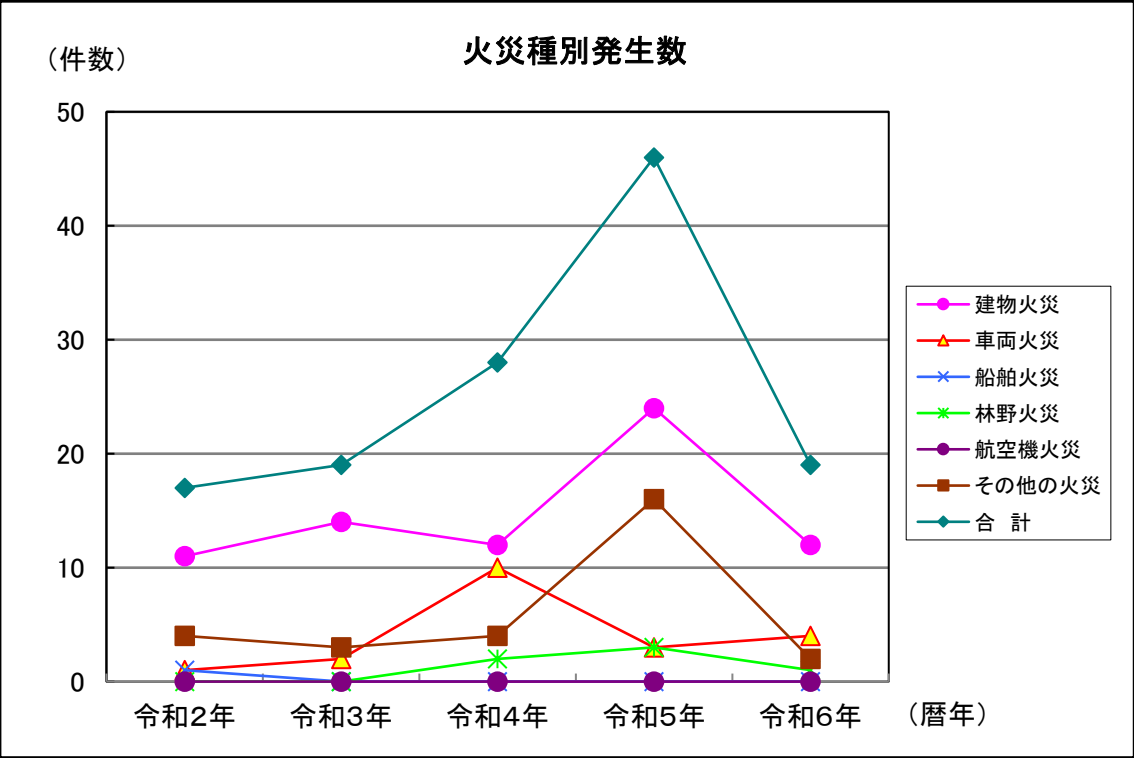
寝たばこ、火種の不始末による火災が発生しているため、たばこの吸い殻の処理は十分に注意しましょう。

また、電気機器が原因の火災が昨年から増えています。特にバッテリーの充電の際に火災が発生しているため、充電の際は、周りに燃えやすい物を置かない、充電は長時間せずにこまめにする等心がけましょう。

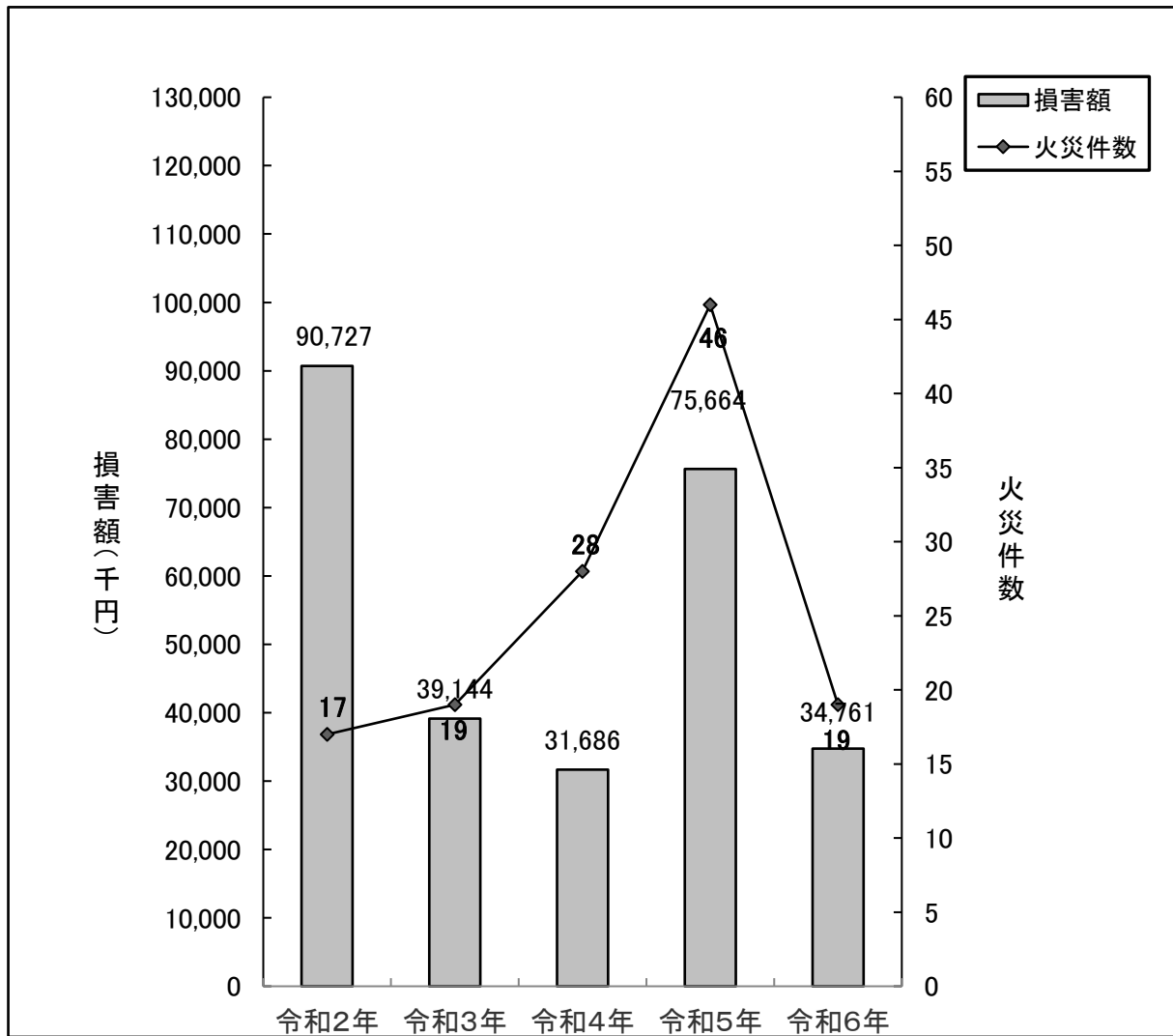


過去5年間の火災種別発生件数・状況

年別 火災種別	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	合 計
建 物 火 災	11	14	12	24	12	73
林 野 火 災	0	0	2	3	1	6
車 両 火 災	1	2	10	3	4	20
船 舶 火 災	1	0	0	0	0	1
航 空 機 火 災	0	0	0	0	0	0
その他の火災	4	3	4	16	2	29
合 計	17	19	28	46	19	129



過去5年間の火災件数・損害額及び焼損面積



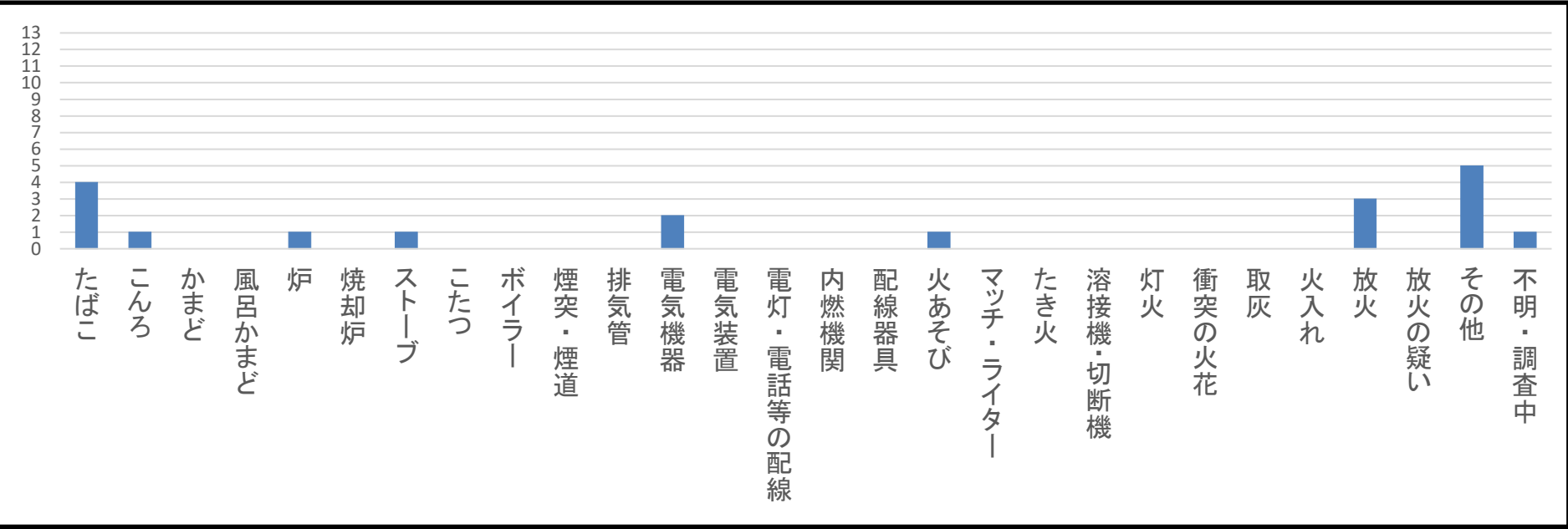
年別		令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	合 計
件数		17	19	28	46	19	129
火災種別							
損害額(千円)	建 物 火 災	90,145	38,578	30,623	75,484	34,404	269,234
	林 野 火 災						0
	車 両 火 災		559	1,049	147	357	2,112
	船 舶 火 災	380					380
	航 空 火 災						0
	その他の火災	202	7	14	33		256
	合 計	90,727	39,144	31,686	75,664	34,761	271,982
建物焼損面積(㎡)		486	258	213	473	235	1,665

月別・年次別火災発生状況

令和6年

	出火件数							建築物火災													車両 焼損 台数	船舶 焼損 隻数	航空 焼損 機数	死傷者		損害額（千円）								合計		
	計	建物	林野	車両	船舶	航空	その他の火災	住家				非住家				罹災棟数	罹災世帯数			罹災人員 (人)						延べ焼損面積 (㎡)	屋内			屋外						
								全焼	半焼	部分焼	ぼや	全焼	半焼	部分焼	ぼや		全損	半損	小損								建物	収容物 その他	計	林野	車両	船舶	航空		その他の火災	
令和2年	17	11	0	1	1	0	4	3	1	6	3	2	0	0	1	16	4	0	8	22	486	4	1	0	1	0	78,600	11,514	90,114	0	31	380	0	202	90,727	
令和3年	19	14	0	2	0	0	3	0	1	3	6	2	1	0	2	15	3	1	7	19	258	2	0	0	0	0	33,508	5,070	38,578	0	559	0	0	7	39,144	
令和4年	28	12	2	10	0	0	4	0	1	4	5	0	0	1	2	15	2	2	10	37	213	13	0	0	0	3	27,468	3,155	30,623	0	1,049	0	0	14	31,686	
令和5年	46	24	3	3	0	0	16	0	2	2	10	1	1	0	8	26	1	3	9	25	473	3	0	0	0	7	72,942	2,542	75,484	0	147	0	0	33	75,664	
令和6年	19	12	1	4	0	0	2	1	1	2	5	1	0	1	2	13	1	1	6	21	235	5	0	0	0	2	32,413	1,861	34,274	0	487	0	0	0	34,761	
1 月	3		1	1			1															1													12	
2 月	1						1																													
3 月	4	4									2	1		1		4			2	4	103						14,731	1,742	16,473							16,473
4 月	1	1													1	1										15		15							15	
5 月	2	2									1				1	2			1	5					1		2	2							2	
6 月	0																																			
7 月	1	1								1						1			1	1	9	1					4		4		130				134	
8 月	1	1								1						1	1			3	27				1		1,525	19	1,544						1,544	
9 月	1	1						1			1					2			1	1	48						11,824	4	11,828						11,828	
10 月	1			1																		1									65				65	
11 月	2	1		1					1							1		1		1	48	1					4,135	94	4,229		255				4,484	
12 月	2	1		1							1					1			1	6		1					179		179		25				204	

令和6年の出火原因別火災発生件数



近年における主な住宅用火災警報器による奏功事例

発生年	覚知方法	出火箇所	原因	火災非火災	焼損面積	損害額	死傷者		概要
					(m ²)	(千円)	死	傷	
令和5年	119番	居室	たばこ	火災	0.1	25	なし	なし	部屋でくわえたばこをした際に、落ちた火種の一部が洋服に落ち、住人が外出後に出火。その後、隣人が外出しようと玄関先に出た際に住宅用火災警報器の鳴動音と異臭に気づき、火災を発見。119番通報となる。なお、早期発見のため、部屋の一部のみの焼損で被害は最小限に抑えられた。
令和6年	119番	居室	電気機器	火災	なし	2	なし	なし	住宅用火災警報器が鳴動し、建物住人が音のなる部屋に向かうと煙を上げている掃除機を発見。ベランダに移動させ、煙が消えるまで放置し、消防に連絡。この火災で受けた損害は掃除機のみとなる。
令和6年	119番	台所	こんろ	非火災	なし	計上なし	なし	なし	共同住宅に住む数名が警報音に気づき、1人は119番通報、もう1人が近くに住む大家から部屋の鍵を借り警報音の鳴る部屋を確認。コンロに火が付いており、鍋が空焚き状態のためそのままコンロの火を消し、非火災となる。

月別・用途別出火件数

令和6年

月別 用途別		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
建 物	住 宅			1				1		1		1		4
	遊 技 場													
	飲 食 店													
	物 品 販 売 店													
	共 同 住 宅			1		1							1	3
	福 祉 施 設													
	事 務 所 等													
	複合用途建築物				1	1			1					3
	その他の用途			2										2
車 両		1									1	1	1	4
船 舶														
航 空 機														
林野/その他の火災		2	1											3
計		3	1	4	1	2	0	1	1	1	1	2	2	19

覚知別火災出動件数

令和6年

月別 用途別		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
専用電話(固定)														
専用電話(携帯)		3	1	3	1	2		1	1	1	1	2	2	18
加入電話														
駆け付け														
事後聞知				1										1
そ の 他														
計		3	1	4	1	2	0	1	1	1	1	2	2	19

曜日別火災発生件数

令和6年

曜 日	日	月	火	水	木	金	土	不明	合計
件 数	5	1	0	3	5	4	1	0	19

月別・時間別火災発生状況

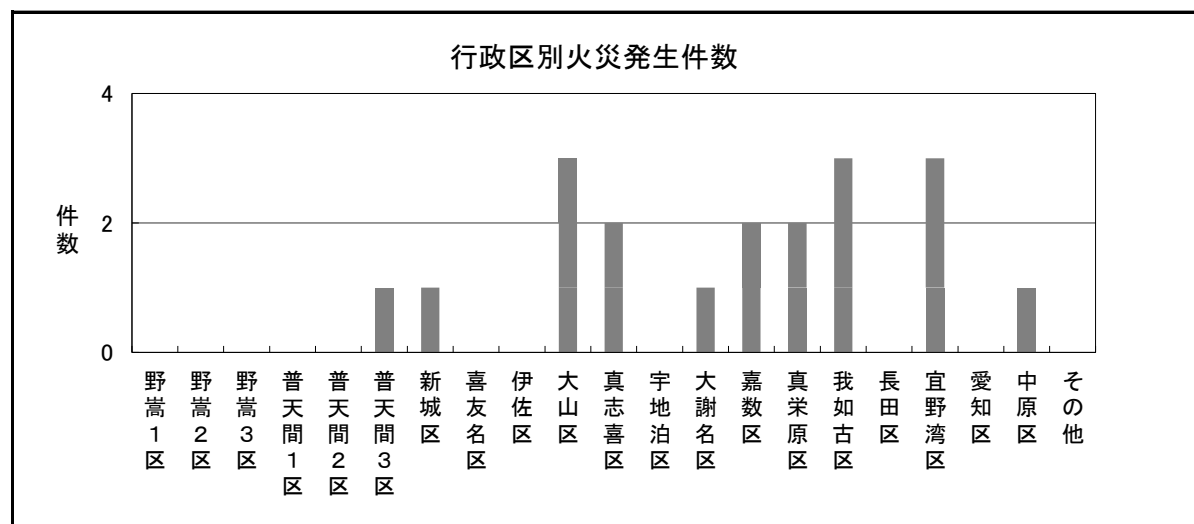
令和6年

月別 時間別	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	不明	計
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	0		
1月						1										1				1						3
2月																							1			1
3月	1									1										1	1					4
4月											1															1
5月											1	1														2
6月																										0
7月																	1									1
8月												1														1
9月												1														1
10月																	1									1
11月												1								1						2
12月					1						1															2
計	1	0	0	0	1	1	0	0	0	1	3	4	0	0	0	1	2	0	0	3	1	0	1	0	0	19

行政区別・月別火災発生状況

令和6年

行政区別 月別	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
野 嵩 1 区													0
野 嵩 2 区													0
野 嵩 3 区													0
普天間1区													0
普天間2区													0
普天間3区								1					1
新 城 区			1										1
喜 友 名 区													0
伊 佐 区													0
大 山 区	1				1					1			3
真 志 喜 区			1									1	2
宇 地 泊 区													0
大 謝 名 区					1								1
嘉 数 区	1								1				2
真 栄 原 区		1	1										2
我 如 古 区	1		1								1		3
長 田 区													0
宜 野 湾 区				1							1	1	3
愛 知 区													0
中 原 区							1						1
そ の 他													0
計	3	1	4	1	2	0	1	1	1	1	2	2	19



救 急

どうしよう・・・ 迷ったら 電話相談
急なケガや病気

7 1 1 9

または ☎ 098-866-7119

緊急時は迷わず 119番



救急統計概要

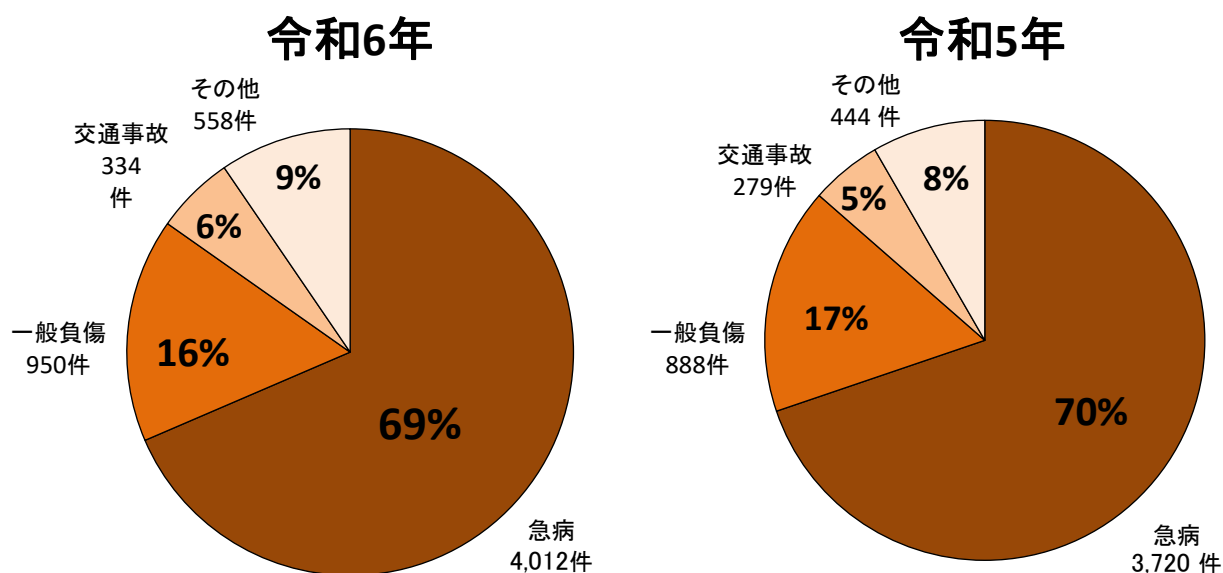
1. 救急出動件数が 5,000件 超え

令和6年中の救急件数は5,854件で、前年(5,331件)より523件増加し、過去最大の救急出動件数となりました。1日あたりでみると、16件を超える出動となります。

	出動件数	1日あたりの件数	現場到着 平均所要時間
令和6年	5,854	16.03	7分12秒
令和5年	5,331	14.6	7分18秒
令和4年	5,279	14.46	7分36秒
令和3年	4,440	12.16	7分42秒
令和2年	4,039	11.04	7分

2. 事故種別ごとの救急出動件数 1位は「急病」

令和6年中の事故種別ごと救急件数は、1位は「急病」で4,012件です。次いで、「一般負傷」950件、「交通事故」334件となっています。



3. 救急搬送者全体における高齢者の割合は「5割」以上

令和6年中の宜野湾市の救急搬送者総数5,138人の内、高齢者は2,933人で救急搬送者の5割以上と高い割合を示しています。

4. 救急搬送者全体における軽症者の割合は「約6割」！！

令和6年中の宜野湾市の救急搬送者総数は、5,138人で、前年より419人増加しました。その内、軽症者は2,909人で救急搬送者の約6割と高い割合を示しています。

5. 本市救急出動における現場到着平均所要時間は「7分12秒」

令和6年中の救急件数5,854件の現場到着までにかかる平均時間は「7分12秒」です。

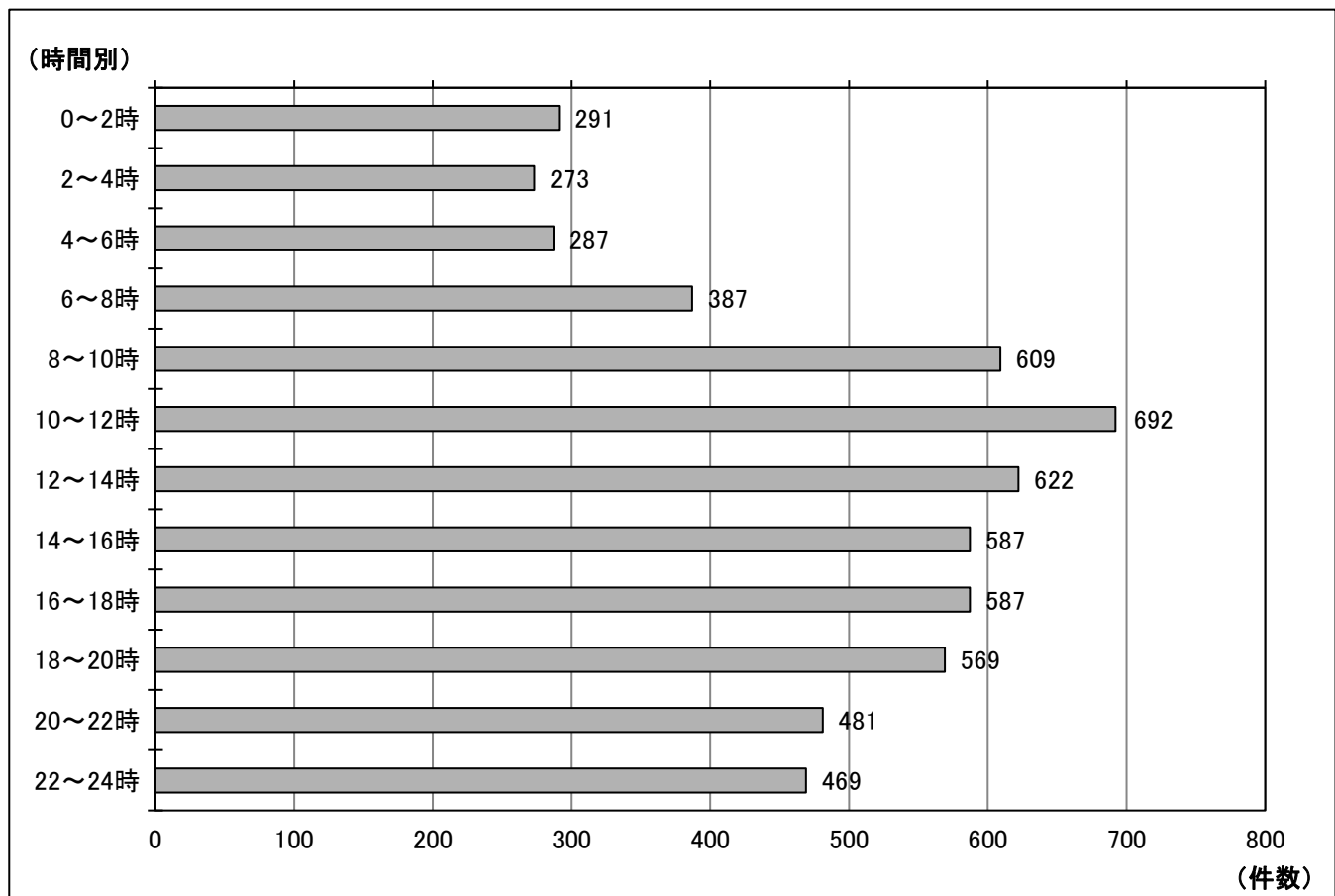
救急車は市民の財産です。救急車の適正利用にご協力をお願いします。

事故種別・時間別救急出動件数

令和6年

事故種別 時間別		火災	自然災害	水難	交通	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他	計
時間別 内 訳	0～2時				8			46	4	2	220	11	291
	2～4時				10		1	44	1	7	199	11	273
	4～6時	1		1	16			47	2	2	211	7	287
	6～8時			1	27	2		59	1	4	278	15	387
	8～10時	1		2	30	6	3	98	1	3	442	23	609
	10～12時	5	1		24	7	9	98	2	9	449	88	692
	12～14時	2			32	4	11	88		7	413	65	622
	14～16時				30	5	4	104		7	392	45	587
	16～18時	1			51	6	7	119	5	3	342	53	587
	18～20時	1			53	1	4	101	1	3	382	23	569
	20～22時	2			33	1	1	72	3	3	349	17	481
	22～24時	1			20			74	5	6	335	28	469
計		14	1	4	334	32	40	950	25	56	4,012	386	5,854

時間別救急出動件数

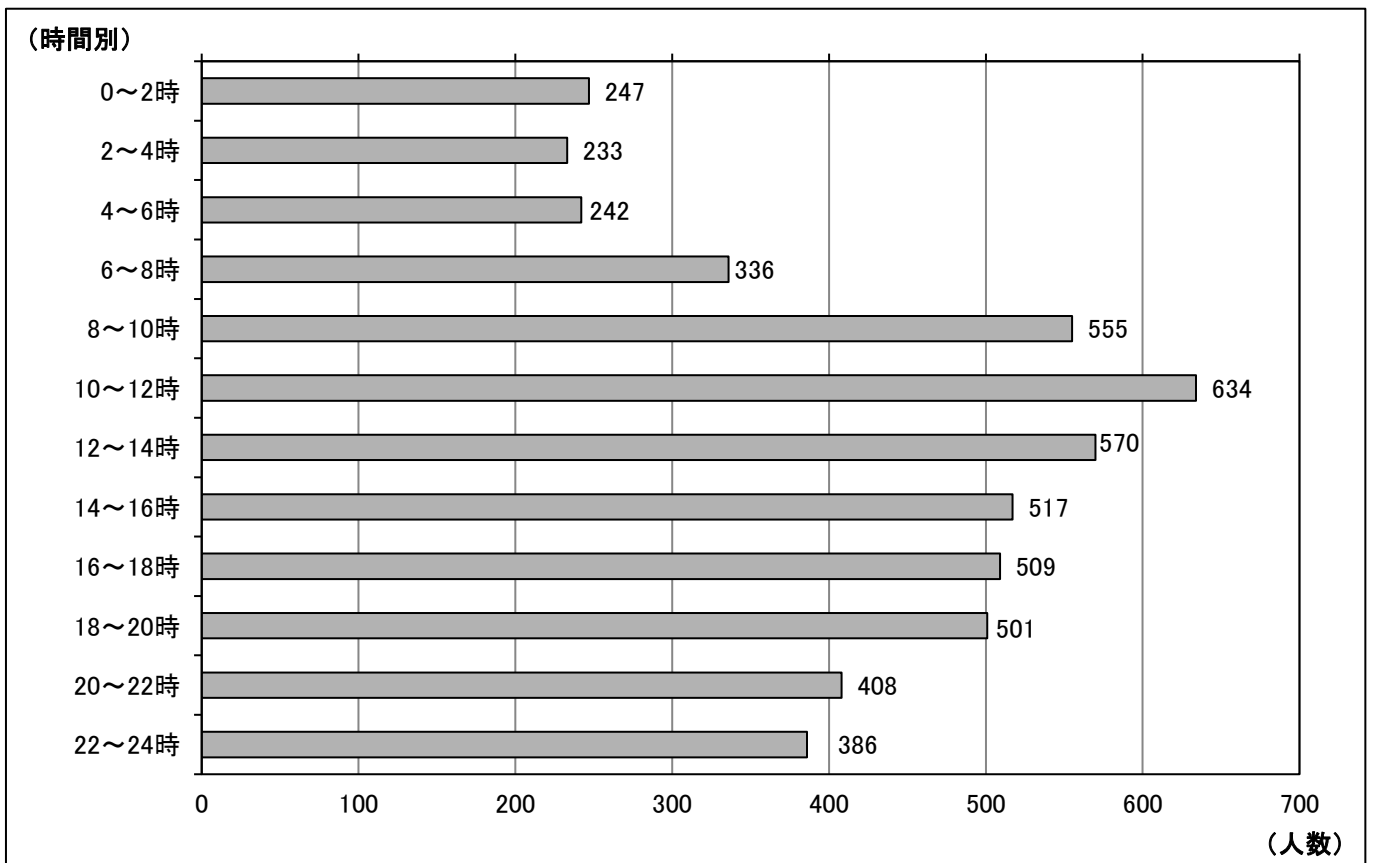


事故種別・時間別救急搬送人員

令和6年

事故種別 時間別		火災	自然災害	水難	交通	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他	計
時間別 内訳	0～2時				8			34	4	1	198	2	247
	2～4時				9		1	39	1	7	175	1	233
	4～6時				14			40	2	1	185		242
	6～8時				25	1		54	1	3	249	3	336
	8～10時			1	30	6	3	87		2	413	13	555
	10～12時	1			25	7	9	93	2	4	416	77	634
	12～14時	1			29	4	10	79		6	389	52	570
	14～16時				30	5	4	90		6	351	31	517
	16～18時				49	6	6	106	3	1	305	33	509
	18～20時				50	1	4	83	1	3	348	11	501
	20～22時				26	1	1	58	2	2	316	2	408
	22～24時				18			55	2	4	302	5	386
計		2		1	313	31	38	818	18	40	3,647	230	5,138

時間別救急搬送人員

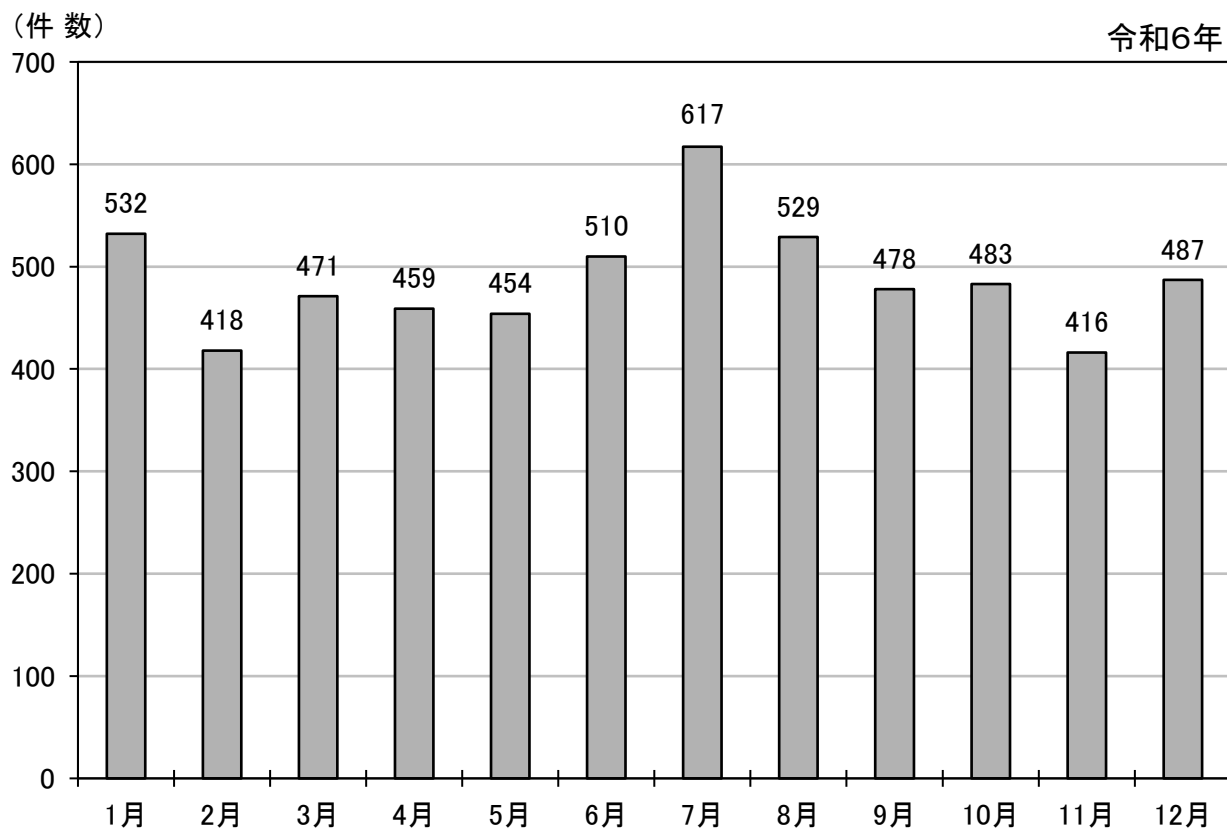


事故種別年令区別傷病程度別搬送人員

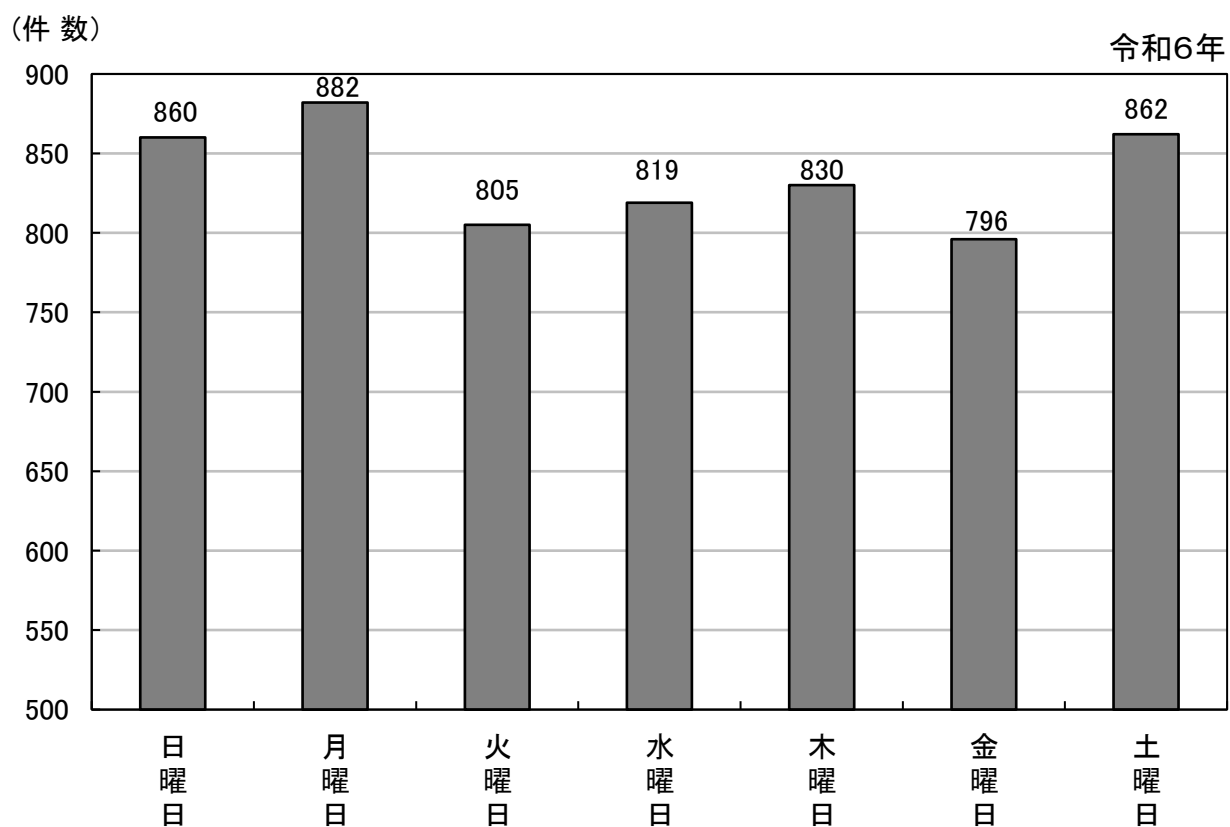
令和 6 年

年令 区分	事故種別 傷病程度	火災	自然災害	水難	交通事故	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他	計
新生児	死 亡												0
	重 症										2		2
	中等症												0
	軽 症										1		1
	その他												0
	計	0	0	0	0			0	0		3	0	3
乳幼児	死 亡												0
	重 症										1		1
	中等症							1			46	2	49
	軽 症				6			39			210		255
	その他												0
	計	0	0	0	6		0	40	0	0	257	2	305
少年	死 亡										1		1
	重 症				2						1		3
	中等症				6			2		2	16	1	27
	軽 症				33		24	31		1	110	2	201
	その他												0
	計	0	0	0	41	0	24	33	0	3	128	3	232
成人	死 亡				2			2		5	18		27
	重 症				8	3		10		3	54	6	84
	中等症				30	6	4	23	1	16	293	45	418
	軽 症	2			168	16	10	131	13	11	775	10	1,136
	その他												0
	計	2	0	0	208	25	14	166	14	35	1,140	61	1,665
高齢者	死 亡				1			1			52	1	55
	重 症				6			99	1		295	54	455
	中等症			1	11	3		154	2	2	842	92	1,107
	軽 症				40	3		325	1		930	17	1,316
	その他												0
	計	0	0	1	58	6	0	579	4	2	2,119	164	2,933
合 計	死 亡				3			3		5	71	1	83
	重 症				16	3		109	1	3	353	60	545
	中等症			1	47	9	4	180	3	20	1,197	140	1,601
	軽 症	2			247	19	34	526	14	12	2,026	29	2,909
	その他												0
	計	2	0	1	313	31	38	818	18	40	3,647	230	5,138

月別救急出動件数



曜日別救急出動件数



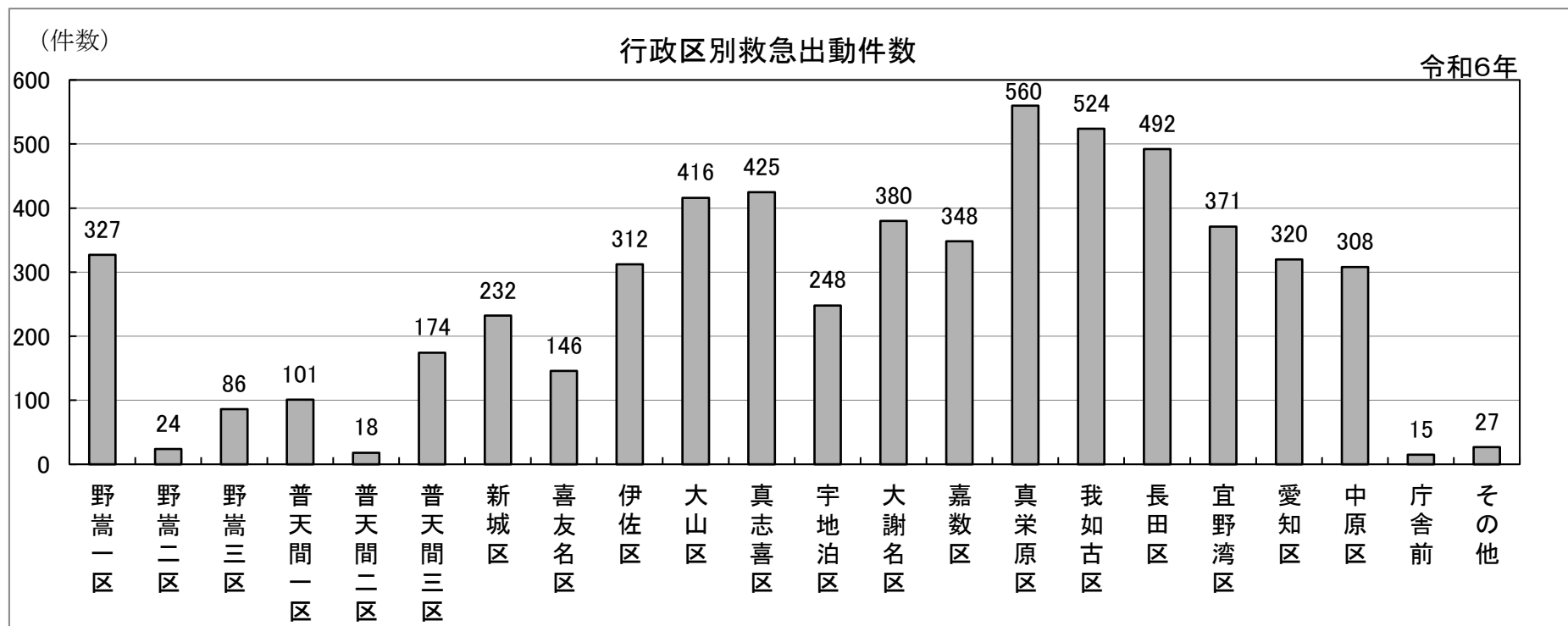
行政区別救急出動件数

令和6年

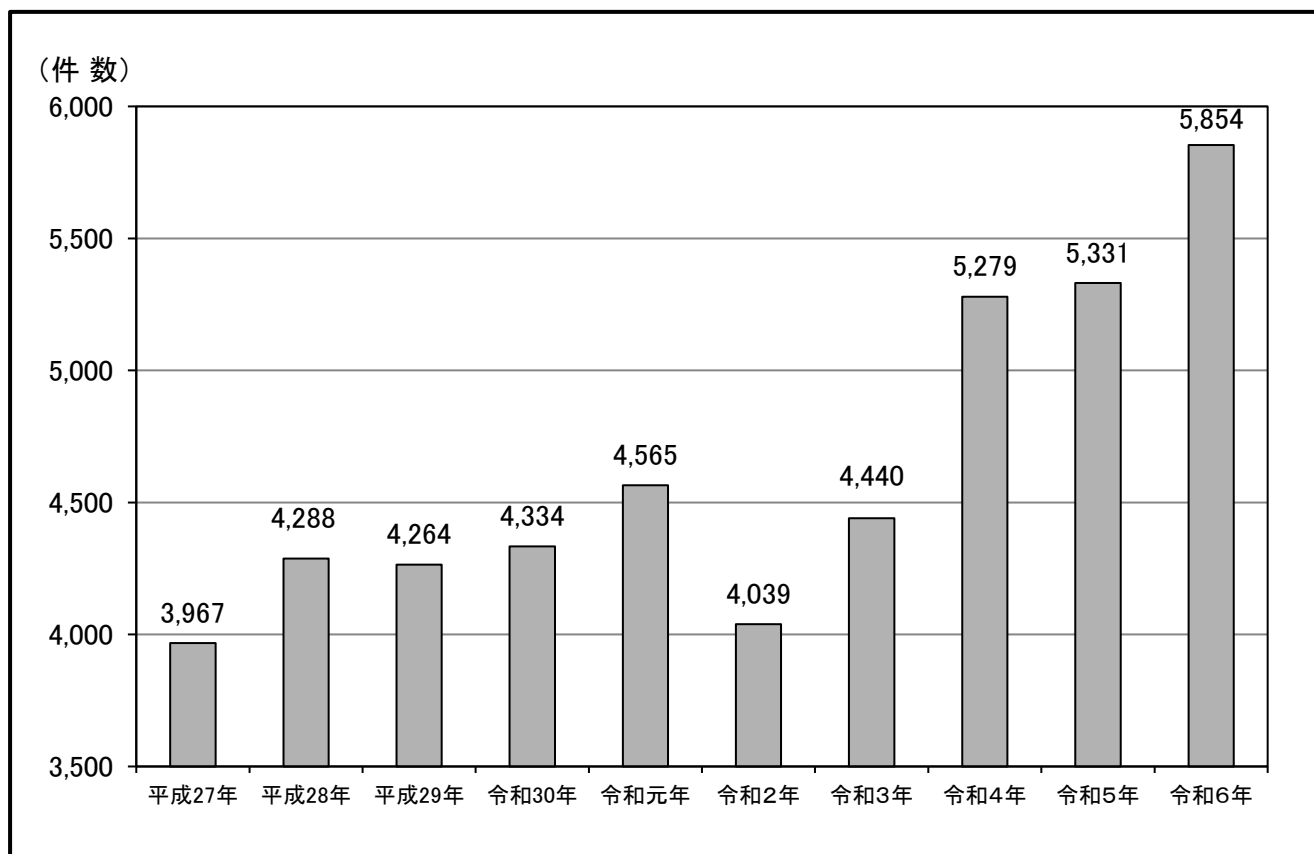
行政区名	野嵩一区	野嵩二区	野嵩三区	普天間一区	普天間二区	普天間三区	新城区	喜友名区	伊佐区	大山区	真志喜区
救急出動件数	327	24	86	101	18	174	232	146	312	416	425

行政区名	宇地泊区	大謝名区	嘉数区	真栄原区	我如古区	長田区	宜野湾区	愛知区	中原区	庁舎前	その他
救急出動件数	248	380	348	560	524	492	371	320	308	15	27

その他：他市町村及び軍施設内



過去10年間の救急出動件数



過去10年間の事故種別救急出動件数

種別 年別	火災	自然災害	水難	交通	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他	計
平成27年	15	1	6	358	20	54	593	37	38	2,573	272	3,967
平成28年	13	0	7	385	36	42	650	38	46	2,802	269	4,288
平成29年	9	3	6	301	27	27	642	23	48	2,903	275	4,264
令和30年	11	9	3	321	20	46	710	39	39	2,875	261	4,334
令和元年	5	2	2	305	29	38	705	33	35	3,131	280	4,565
令和2年	7	2	4	234	20	27	642	32	35	2,826	210	4,039
令和3年	10	2	5	249	22	26	693	21	57	3,131	224	4,440
令和4年	11	1	3	267	27	19	764	40	49	3,869	229	5,279
令和5年	13	5	4	279	41	22	888	26	48	3,720	285	5,331
令和6年	14	1	4	334	32	40	950	25	56	4,012	386	5,854

署所別救急出動件数

	消防署	我如古出張所	真志喜出張所	令和6年 合計
出動件数	2,363	1,956	1,535	5,854
搬送人員	2,068	1,745	1,325	5,138
ドクターカー出動件数	52	47	41	140

救急隊員が行った応急処置件数（令和6年）

表1

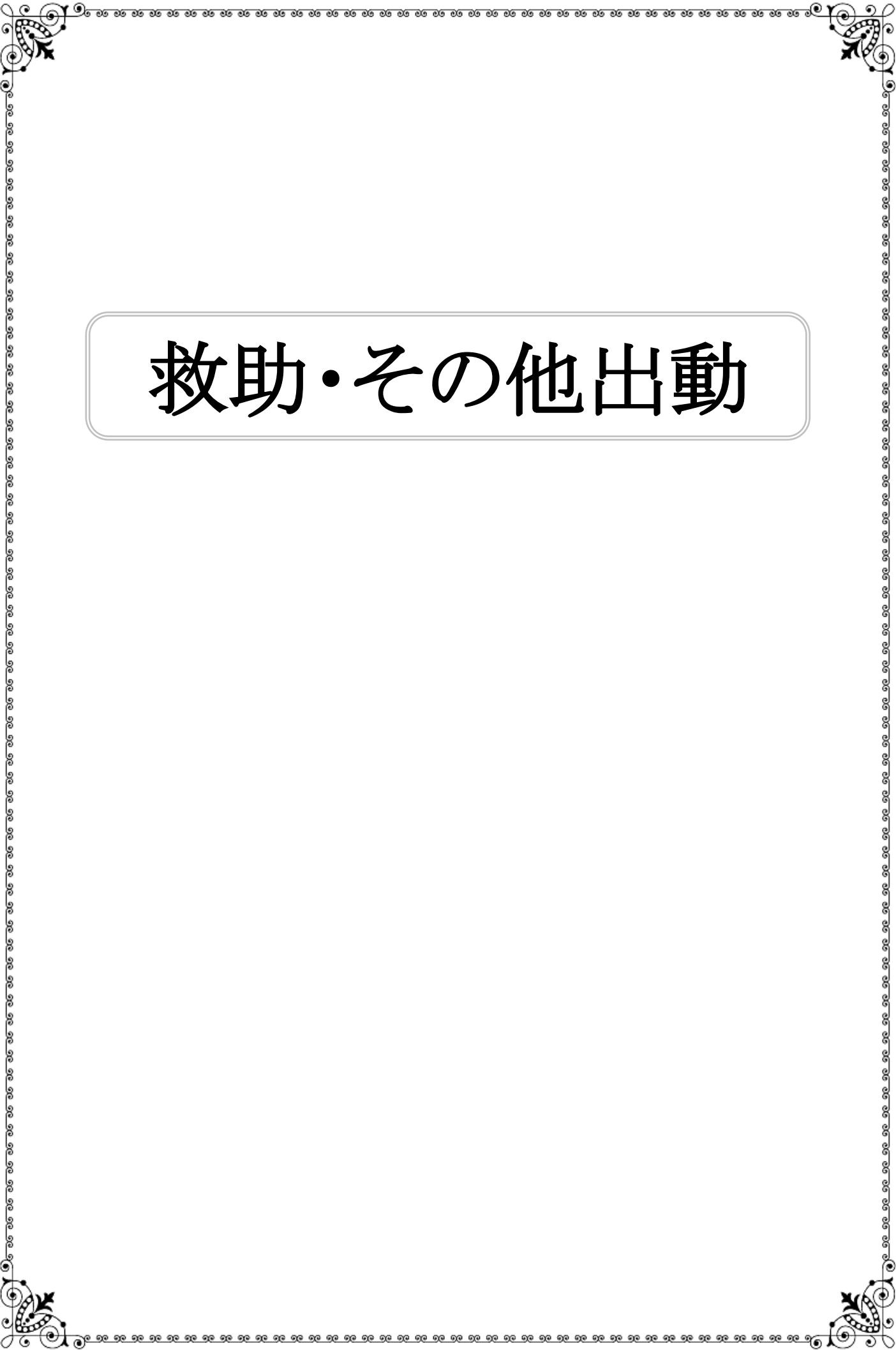
事故種別	応急処置 対象人員	止血	固定	人工呼吸	心マッサージ		心肺蘇生		酸素吸入	気道確保				保温	被覆
						うち自動		うち自動		*1	*2	*3	*4		
急病	3,646	9	39	9			69	33	641	88			23	222	8
交通	310	10	213	1			3	2	11	4			1	13	35
一般負傷	818	54	244	1			6	4	28	10		4	1	24	138
その他	360	9	24				6	3	89	6			1	20	15
計	5,134	82	520	11	0	0	84	42	769	108	0	4	25	279	196

*1 経鼻エアウェイを使用しての気道確保 *2 喉頭鏡・鉗子等による異物除去
*3 救急救命士法に基づき重度傷病者に対して行う救急救命処置のうち、ラリングアルマスク等を使用しての気道確保
*4 気道確保のための処置で救急救命士が行った気管挿管処置

表2

事故種別	応急処置	在宅療法継続			ショックパ ンツによる 血圧保持	除細動	静脈路確保		薬剤投与	その他の 応急 処置	血圧 測定	聴診器に よる心音・ 呼吸音の 聴取	血中酸素 飽和度の 測定	心電図	血糖測定	エピペン 投与	ブドウ糖 投与	合計	
		* A	* B	* C			うち CPA前	うち CPA後											
急病	223	4	53	175		7	46	24	22	19	2,554	3,483	1,169	3,584	1,856	82		4	14,112
交通	1			1		1	2	1	1	1	207	302	119	306	58	1			1,288
一般負傷	37		4	34			2		2	2	582	797	175	813	150	4			3,067
その他	17		1	17			2	1	1	1	229	350	98	354	117	1			1,338
計	278	4	58	227	0	8	52	26	26	23	3,572	4,932	1,561	5,057	2,181	88	0	4	19,805

*A 在宅中心静脈栄養管理・在宅化学療法等により点滴処置が施されているもの
*B 気管切開孔又は気管瘻、人工肛門等の外瘻処置が施されているもの
*C *A、*B以外の処置が施されているもの



救助・その他出動

救助統計概要

1. 令和6年中の救助出動件数は **53件** 前年比は **16件 増加**

	出動件数 合計	火災	交通 事故	水難 事故	自然災害	機械 事故	建物等 の事故	ガス酸欠 事故	破裂 事故	その他 事故
令和6年	53		3	6		3	26			15
令和5年	37	2	4	2	1	2	15			11
前年比	16	-2	-1	4	-1	1	11			4

令和6年中の救助出動の件数は53件で、前年と比較すると16件の増加となっています。一番多いのが「建物等の事故」で26件、次いで「その他事故」で15件となっています。

2. 令和6年中の救助活動件数は **45件** 前年比は **13件 増加**

	活動件数 合計	火災	交通 事故	水難 事故	自然災害	機械 事故	建物等 の事故	ガス酸欠 事故	破裂 事故	その他 事故
令和6年	45		2	4		2	25			12
令和5年	32	2	4	1		2	15			8
前年比	13	-2	-2	3		0	10			4

令和6年中の救助活動の件数は45件で、前年と比較すると13件の増加となっています。一番多いのが「建物等の事故」で25件となっており、次いで「その他事故」で12件となっています。

3. 令和6年中の救助人員は **49人** 前年比は **10人 増加**

	救助人員 合計	火災	交通 事故	水難 事故	自然災害	機械 事故	建物等 の事故	ガス酸欠 事故	破裂 事故	その他 事故
令和6年	49		2	2		4	27			14
令和5年	39	2	4	1		5	19			8
前年比	10	-2	-2	1		-1	8			6

令和6年中の救助人員は49人で、前年と比較すると10人の増加となっています。一番多いのが「建物等の事故」で27人となっており、次いで「その他事故」の14人となっています。

※事故種別

- (1)「火災」 火災現場において、直接火災に起因して生じた事故をいう。
- (2)「交通事故」 すべての交通機関相互の衝突及び接触又は単一事故若しくは歩行者等が交通機関に接触したこと等による事故をいう。
- (3)「水難事故」 水泳中の溺者又は水中転落事故による事故をいう。
- (4)「自然災害」 暴風、豪雨、豪雪、洪水、高潮、地震、津波、噴火、雪崩、地すべり、その他の異常な自然現象に起因する災害事故をいう。
- (5)「機械事故」 エレベーター、プレス機械、ベルトコンベアーその他の建設機械、工作機械等による事故をいう。
- (6)「建物等の事故」 建物、門、柵、へい等の建物に付帯する施設又はこれらに類する工作物の倒壊による事故、建物等内に閉じ込められる事故、建物等に挟まれる事故等をいう。
例: 救急出動時に傷病者の家、全ての出入口や窓が施錠され、家屋内へ進入が困難な事案。
- (7)「ガス酸欠事故」 一酸化炭素中毒その他のガス中毒事故、酸素欠乏による事故等をいう。
- (8)「破裂事故」 火薬、ガス、粉じん、反応容器の爆発、ボイラー、ボンベの破裂等による事故をいう。
- (9)「その他事故」 (1)から(8)に掲げる事故以外の事故等で、消防機関による救助を必要としたものをいう。 例: 自動車内に誤って内鍵をし、子どもが閉じ込められた事案。

災害別・月別出動件数

令和6年

月別 種別		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
緊急確認	件数	8	4	0	1	2	1	2	3	1	1	3	3	29
	人員	25	31	0	7	8	6	4	32	7	9	26	8	163
	車両	9	11	0	3	3	2	2	12	3	3	10	3	61
救助出動	件数	4	4	3	4	1	4	12	3	2	3	3	10	53
	人員	28	19	28	23	5	22	83	19	28	29	17	68	369
	車両	11	8	11	8	2	8	30	6	10	10	6	25	135
風水害出動	件数	0	0	0	0	0	8	0	0	0	0	1	0	9
	人員	0	0	0	0	0	28	0	0	0	0	4	0	32
	車両	0	0	0	0	0	10	0	0	0	0	1	0	11
ガス漏れ こんろ油鍋	件数	2	0	0	2	2	1	0	1	0	1	0	0	9
	人員	11	0	0	20	5	3	0	11	0	5	0	0	55
	車両	4	0	0	7	2	1	0	4	0	2	0	0	20
油流出事故	件数	0	2	2	1	1	2	0	1	2	0	0	0	11
	人員	0	5	5	3	3	5	0	3	5	0	0	0	29
	車両	0	2	2	1	1	2	0	1	2	0	0	0	11
ハブ・ハチ 動物出動	件数	0	0	0	0	1	0	0	1	0	2	1	0	5
	人員	0	0	0	0	2	0	0	4	0	5	4	0	15
	車両	0	0	0	0	1	0	0	1	0	2	1	0	5
自動火災報知 設備誤報	件数	9	9	13	13	16	25	20	20	16	12	22	18	193
	人員	28	23	28	40	44	69	47	54	45	28	56	48	510
	車両	9	9	13	14	16	28	20	20	16	12	22	18	197
たき火	件数	0	0	1	0	1	1	1	0	0	2	3	1	10
	人員	0	0	15	0	2	2	2	0	0	7	20	2	50
	車両	0	0	6	0	1	1	1	0	0	2	8	1	20
救急支援活動	件数	64	58	49	68	63	57	77	75	71	72	63	80	797
	人員	176	157	118	175	169	145	185	186	184	193	167	215	2,070
	車両	64	59	49	68	63	57	77	75	72	72	63	80	799
その他出動	件数	1	5	2	6	2	6	2	3	3	1	4	1	36
	人員	3	11	8	45	4	14	5	7	8	3	10	2	120
	車両	1	5	3	19	2	6	2	3	3	1	4	1	50
合計	件数	88	82	70	95	89	105	114	107	95	94	100	113	1,152
	人員	271	246	202	313	242	294	326	316	277	279	304	343	3,413
	車両	98	94	84	120	91	115	132	122	106	104	115	128	1,309

行政区別出動件数

令和6年

行政区別	種 別	緊急 確認	救助 出動	風水害 出動	こんろ 油鍋 ガス漏れ	油流出 事故	ハブ・ハチ 動物出動	自動火災 報知設備 誤報	たき火	救急支援 活動	その他	計
野 嵩 1 区		2	0	0	0	0	0	13	0	39	1	55
野 嵩 2 区		0	0	0	0	0	0	0	0	3	0	3
野 嵩 3 区		0	2	0	0	0	0	1	1	11	0	15
普 天 間 1 区		0	2	1	0	0	0	3	1	18	1	26
普 天 間 2 区		0	0	0	0	0	0	1	0	3	1	5
普 天 間 3 区		1	5	1	0	0	0	5	0	27	3	42
新 城 区		2	1	0	0	0	1	8	1	30	1	44
喜 友 名 区		0	3	0	0	1	0	14	0	26	1	45
伊 佐 区		3	3	0	0	1	0	10	0	48	3	68
大 山 区		4	4	1	3	2	0	13	2	65	4	98
真 志 喜 区		2	6	0	0	1	0	23	2	56	0	90
宇 地 泊 区		0	5	0	0	1	0	6	0	36	3	51
大 謝 名 区		3	1	0	0	0	1	17	0	53	2	77
嘉 数 区		1	0	2	0	0	2	4	1	42	1	53
真 栄 原 区		0	3	0	0	1	0	13	1	80	0	98
我 如 古 区		4	5	0	1	1	0	21	0	69	6	107
長 田 区		2	4	1	0	1	0	8	1	71	1	89
宜 野 湾 区		0	4	2	3	1	0	14	0	36	3	63
愛 知 区		2	2	1	0	1	0	11	0	40	4	61
中 原 区		1	3	0	2	0	1	8	0	41	0	56
そ の 他		2	0	0	0	0	0	0	0	3	1	6
計		29	53	9	9	11	5	193	10	797	36	1,152

その他

令和6年消防関係主要行事

月 日	行 事 名
1月5日	令和6年宜野湾市消防出初式
3月1日～7日	春季全国火災予防運動
4月8日	沖縄県消防長会春季総会(那覇市)
4月25日～26日	全国消防長会九州支部総会(大分県)
5月24日	沖縄県救助技術指導会(中城村:県消防学校)
5月26日～6月7日	九州一斉住宅用火災報知器普及啓発キャンペーン
6月2日～8日	危険物安全週間
6月27日～28日	中部消防長会水難救助訓練(浦添市)
9月1日～21日	住宅防火防災キャンペーン
9月8日～14日	救急医療週間
9月24日	第50回沖縄県消防協会中部地区支会消防団操法大会
11月7日	第23回沖縄県消防大会・第45回沖縄県消防職員意見発表会(浦添市)
11月9日～15日	秋季全国火災予防運動
11月16日～17日	緊急消防援助隊九州ブロック合同訓練(長崎県)
11月20日	沖縄県消防長会秋季役員会・総会(糸満市)
11月30日	宜野湾市地震・津波避難訓練
12月7日	救急消防フェア

令和6年消防訓練関係

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
各部訓練	3	3	3	3	3	3	3		3	3	3	3	33
救助訓練	3	3	5	11	12		3	3	3	3	3	3	52
水難救助訓練	6	6	11	7	12	5	2	7	6	6	6	2	76
総合訓練	1							1					2
合計	13	12	19	21	27	8	8	11	12	12	12	8	163

令和6年救命講習関係

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	回数 人員
上級救命講習									1				1
									16				16
応急手当 普及員講習													0
													0
普通救命講習	7	4	6	9	7	12	18	9	12	12	11	9	116
	95	28	75	131	66	177	180	111	167	167	139	96	1,432
救命入門コース	1	6	1	1	6	1	7	2	3	1	2	6	37
	80	397	60	35	224	33	188	43	79	12	17	225	1,393
防災教育	2	2					2	1		1	1	2	11
	58	56					244	28		36	5	18	445

延回数 165 回 延人数 3,286 人

救命講習・防災教育は、無料で受講することができます。
申込みについては、消防署へお問い合わせください。
救命講習(毎月第二週火曜開催)

令和6年庁舎見学

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	回数 人員
園児	1	3	1	1					2	2	8	4	22
	24	76	15	5					33	75	317	85	630
小学生	1	1		1			4	2	2	1	4	1	17
	146	106		16			125	40	95	92	399	82	1,101
その他 (専門学校)						1							1
						35							35

延回数 40 回 延人数 1,766 人

令和6年職場体験学習

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	回数 人員
中学生											1	1	2
											8	10	18
高校生												1	1
												10	10
その他 (専門学校)													0
													0

延回数 3 回 延人数 28 人

宜野湾市消防本部では、園児や学生の防災への関心を高めるため、積極的に受け入れを行っています。

気象観測集計データ（令和6年）

宜 野 湾 市

種 別 月 別	風向・風速(m/s)			気 温	相対湿度	(月)雨量	(年)雨量累計
	平均風速 (m/s)	最大瞬間風速		平 均(℃)	平 均(%)	(mm)	(mm)
		風向	風速(m/s)				
1月	3.4	北西	18.3	16.9	64.7	26.0	26.0
2月	3.4	西南西	22.8	18.7	78.6	47.5	73.5
3月	3.7	南南西	19.8	18.4	74.7	209.5	283.0
4月	3.3	西南西	19.1	23.0	88.1	279.5	562.5
5月	3.4	南南西	20.3	23.6	86.0	441.5	1,004.0
6月	3.4	南南西	17.6	26.0	89.3	659.5	1,663.5
7月	3.4	東南東	26.3	29.3	83.7	145.5	1,809.0
8月	3.0	南	19.0	29.1	83.5	100.5	1,909.5
9月	3.8	東南東	19.7	27.9	86.8	343.5	2,253.0
10月	3.4	東南東	21.0	26.6	85.0	290.5	2,543.5
11月	3.6	西北西	18.2	22.8	79.4	192.0	2,735.5
12月	3.2	北北西	15.9	17.5	68.1	35.0	2,770.5
平均	3.4			23.3	80.7	230.9	

ねたての都市^{まち}
ざわん